

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-126)、
廃棄物管理施設(101)、MOX 燃料加工施設(2-83))」

2. 日時：令和5年12月5日(火) 13時30分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他7名

東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 担当職

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から令和5年12月4日及び当日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・ 重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理
- ・ 再処理施設及び廃棄物管理施設の説明グループの設定に係る整理の考え方
- ・ 入力地震動の策定

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・ 重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理については、本年11月29日のヒアリング時に整理するとした事項の対応を進めるとともに、設計基準対象施設の基本設計方針との紐付けの考え方や各説明グループにおける説明範囲を明確にして、説明すべき事項の漏れがないように整理する。
- ・ 入力地震動の策定については、次回の審査会合において、これまで取得したデータの信頼性や一連の検討プロセスが示せるように、説明内容を整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

「入力地震動の策定 次回会合説明の骨子案」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和5年11月29日
「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(2-123)、廃棄物管理施設(98)、MOX 燃料加工施設(2-80)）」
- ・ 令和5年12月4日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	お伺いしました。
0:00:04	慎重ヤマグチでした。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設廃棄物管理施設、
0:00:17	また、15年2月には申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、その資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:27	まず規制庁側の出席者を紹介いたしますと、本庁会議室からコサクフジワラオオオカヤマグチ、その他Lからアライ、
0:00:39	イトウ以上になります。
0:00:41	藤安保君、耐震アース
0:00:44	後半の耐震のメニューのときはまた出席者の入れ替えありますので願います。
0:00:49	それでは日本原燃の方から出席者の紹介とし、議題の構成の説明紙資料の説明を開始してください。
0:00:59	はい。日本原燃事務局の中浜でございます。
0:01:03	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:06	Steeringチームより、
0:01:08	イシハライシグロタカヤ。
0:01:12	あとサポートメンバーといたしまして、セガワシミズ。
0:01:18	最初の事務局参加させていただいております。
0:01:22	以上が出席者です。
0:01:24	本日ご確認いただきます資料でございますけど2点ございまして、昨日ご提示差し上げました。
0:01:30	SA要求事項の整備、
0:01:32	及び再処理施設及び廃棄物管理施設の説明努力の設定に関わる整理の考え方。
0:01:39	以上2件の資料となっております。
0:01:42	それでは説明の方開始させていただきます。
0:01:48	はい。いう名称でございますそれでは、
0:01:52	資料としては二つです、SAの要求事項の整理と、
0:01:56	括弧要求事項とDB設定の関係整理というところの、あともう一つは最初は廃棄物管理施設の説明グループの設定から整理の考え方ということでございます。
0:02:06	一つ目の資料のSAの要求事項の整理、これのアウトプットは、基本的に再説明グループの設定の方にリンクをして、整理を進めていく。

0:02:20	という流れもありますので、二つの資料を、説明会を順番に説明しますが輪形状
0:02:26	それぞれ示しながら説明をさせていただければと思います。
0:02:31	それでは本文としてまずSAの要求事項の整理の方から進めていきますが、1 ポツ目的のレ点の三つ目、青字になってます。前回のヒアリングのやりとりで、
0:02:46	36 条以上、議会のSAの個別条文の取り扱いということでございますが、ここで書いてます趣旨は、もう一つの再処理施設、廃棄物管理施設名グループの設定に係る整理の考え方の資料の、
0:03:01	36 条以外の押しと、例えばですが、
0:03:08	定例ナンバーからは 99 ページからのシートの
0:03:13	これ個数要領とかの個別であることをどう整理していくかということ言ってます。実際は、例えば 150 ページ、説明グループの設定の 150 ページの資料見ていただきますと、
0:03:26	これ本館関係の 49 条、21 条 49 条合わせ技で、整理をしていますが、ここで例えば 6.1. 2.1Eの中で
0:03:37	サンプリング量を及び計測範囲に対して十分な容量必要数を有する設計と、
0:03:43	言っているものをこれを、※3 のSA設備の機能設計Aとして、Aグループさんに預けるという整理をします。こういう形で基本設計方針との展開で衛星の機能を設計に係る要求の中に、
0:03:58	母数容量をといたものを含めて全体展開をしていくということで個別条文についても、適宜へ展開をしますので、そういったことをやってますよと、いうことを示しています。
0:04:11	また個別条文と本当の対象側の条文もですね、同じように、
0:04:23	ここだけなあ。
0:04:25	例えばですが 134 ページが水素爆発ですけども 7.1. 2.3 のところで
0:04:34	※3 のところの下から 2 番目ですかね、必要な流量を確保する設計といったものが機能との関係で要求されますのでこういったものを、機能設計の一部として抽出をしてそれぞれ隅括弧の方に展開をするように、
0:04:50	整理をしておりますということを、このレ点のところは言っているということでございます。
0:04:58	はい。続きまして、本文上 3 ページですかね、悪影響防止の観点、これに抽出漏れがないかということが前回のやりとりでありました。
0:05:09	悪影響防止として見るべきものを抽出して、網羅的にそれぞれどこに展開したかということ整理をさせていただいているものになります。
0:05:18	大江青野、上から 4 番目のレ点の話も、

0:05:22	これも同じように
0:05:26	先ほどの再処理の説明グループの設定に係る整理の考え方の資料の先ほど示した例えばですけど、
0:05:37	同じように 150 ページを、
0:05:40	行ってもらったらできるのかなこれ、150 ページ駄目か、個別の
0:05:45	基本設計にいかないとわかんない。
0:05:55	どうだこれだ。
0:05:56	例えば 133 ページ蒸発乾固のところでは 7.2. 2.3、大体安全冷却水系これも
0:06:05	システムの切り換えだったり縁起だったりという意味では、
0:06:13	この間、
0:06:15	これ、切り換えの統一しかないんだコネクタの、
0:06:20	書いたつもりだったんだけど、
0:06:24	ちょっと大小自分で探しますし、こちらの方の機能設計の中で、システムの切り換えだった景況防止ということも※3 の要求事項の中で展開をして、
0:06:34	いこうということでその時に合わせて、グループ 3 で説明するといいな がらも、ADD側の設計との関係性も含めて、説明をさせていただくとい うことを、
0:06:45	この説明グループの徹底側で引き取って展開をしていこうということで 考えてますということでございます。
0:06:55	はい。続きまして本文の 4 ページ。
0:07:00	これ
0:07:03	以前のやりとりで※3 のところをあたり※3 として抽出する必要がないっ ていうことの説明をということの関係でございませう。
0:07:14	丸先生だったらアクセス性に関することをリリースの中でもあわせて説明 することがありますので、わざわざ※3 というよりは、それと紐づけて、 関連するものという共通項だということでもこそここで整理ができるんじゃ ないかと。
0:07:29	いうことが、上の次の部分になります。
0:07:33	はい。
0:07:35	で、4 ページの真ん中にあります。これ今回生成にあたって、整理の方 針での留意事項という意味で、ディー・ディー・エスそれぞれの関係性と いうのを説明していくかと。
0:07:47	ことの留意事項を、作業状況を踏まえて不追加をさせていただきました。
0:07:54	また 4 ページの一番下の青字、これは外部火災関係の

0:08:01	これは共通項なんですよ。
0:08:04	そうですね。
0:08:05	森林火災と近隣工場の火災ですね、こういったものの関連性を示していくという意味で紐付けの整理についての考え方を示させていただきました。
0:08:19	はい。で、
0:08:20	一部、5 ページですとか、あとは 7 ページのところ、
0:08:26	あと、
0:08:28	ホームページとか、10 ページから 11 ページに青字で書いてある未払い事故、これについては今後反映するにあたっての考え方というのを示させていただいているということでございます。
0:08:42	7 ページのところは、
0:08:45	丸い形をしていた中での特徴的なものをどう説明していくか、特に
0:08:53	代表政治的分散個数揚力環境条件こういったものが関連して共通的な軸になる考え方基本方針があった上でそれぞれの良い事項の
0:09:05	展開をしていくと、ということが結局は 2N+幾つというところに対して守れば、重大事故対象に対して十分容量として足りてるんだと。
0:09:15	要求事項を達成できるんだというようなことの基本方針をまずちゃんと書いてその軸から展開していくということを整理を今後していきたいということでございます。
0:09:28	10 ページ細かい表の整理の仕方という意味で、どこをジョイントするとか、いうことの
0:09:36	まだできてないことを備忘的に言い換えているというのが 10 ページからの記載になります。
0:09:41	はい。
0:09:43	あと抜けたな。
0:09:45	5 ページのところの未配布事項、これ
0:09:50	今、
0:09:52	前回ですねとして耐震、地震も含めた条文が 5 条とか 6 条とDBOの条文しかなかったところを、32 条 33 条関係性を含めて、必要な条文を書きました。
0:10:05	例えば、議 32 条に振ると、
0:10:09	言ったときに、また 32 条に丸を付けると、やりたいことが見えるかなというところで、整理をし、していますが現状丸をつければ、
0:10:19	そこの条文に行けばですね、主語として設備はという主語が出てきますんで、何を要求事項として見るべきかが整理できるかなと思ってますんで、一つ目のババポツは

0:10:31	各条文のところに関係するところは丸をつけていくということで整理をしようと思ってます。
0:10:37	二つ目のポツは、竜巻の例の竜巻防護盤の 1.2Ssの波及影響の話。これも、耐震の関係で、
0:10:47	持っていこうと思ってますので、耐震側に丸をつけて、竜巻がバーにするといったような整理をしようと思っていると、いうことでございます。
0:10:57	最後のポツが、下は据え、36 条に入ってるかSAFをどうやって振っていかうかと、ということについては、
0:11:09	まだちょっと整理の仕方悩んでますが、遠慮書いてあるのは括弧書き考えてるの括弧書きで書いている、例の自然現象の考慮というところで、
0:11:19	8 条の関連条文のところ関連事象のところ丸をつけて、最終たく支店が 35 条だということがわかるように整理をしようかなと。
0:11:27	いうふうに思っているところでございます。
0:11:30	はい。
0:11:32	この整理で、かつ、添付 1 を、
0:11:37	見ていただきますと、
0:11:40	前回から追加した点としても、
0:11:43	例えば 13 ページに、DBとの紐付けということで、DBの基本設計方針とSAの基本設計方針の関係性を、
0:11:53	示しております。これをやって最終的にどうしたいかと。
0:11:57	ということなんですが、
0:12:00	一つは、
0:12:05	別なグループの設定の資料に入っている。
0:12:12	わかって、
0:12:21	よいしょ。
0:12:23	68 ページ以降の、一番右上に隅括弧を抽出すると。
0:12:30	いうことの作業を新美まずは遠隔していくと、いうこと。
0:12:35	加えると
0:12:38	竜巻等々の事象でご説明した点ページと言っていたもの、或いは榎DB側の基本設計方針に関係するところがこれで日持ち等できて、説明すべき項目が明確になりますので、
0:12:51	そういったところの例竜巻等の資料ずっと言った添付 1 に赤字で、衛星としての設計項目が追加であるのであればそこに付していくというところの作業まで持っていこうと思ってます。
0:13:05	現状の説明グループの設定の資料の中での、

0:13:10	68 ページ以降の資料もまた足りてないところがありまして現状、最低限、各説明グループの
0:13:19	規制として追加しなきゃいけない隅括弧、なるべく以降抽出するという観点で今できている場合が、そういった反映して、今後これに、
0:13:30	ディールこの左側についている各部分の事象の関連するところの隅括弧の関連性というの、付していくということが必要になってくると思っ てます。
0:13:42	例えば大分長くなりますけどムラなくやるという意味では丁寧にやっ ていこうかなというふうに思っているところでございます。
0:13:50	はい。
0:13:54	資料としては、2 番目の資料もですね同じように隅括弧の関係の整理を しているという観点では、
0:14:02	先ほどの 36 条の作業と、
0:14:06	あとは館広原も含めて別に設計項目の整理をしている。
0:14:12	単位での展開という意味で、21 ページ以降に書いてるように 1 人がア ベ 108 条の竜巻とかでやっていた、研究地で行っていたもの、それに、 その設計項目を見ながら、
0:14:26	隅括弧を展開をしていくということをやろうということでございます。
0:14:31	こちらと 36 度が最終的コラボしてって全体の枠組みになるということ で考えております。
0:14:37	はい。今添付 1 を作っていない条文をどうしていくかということも、前回 から宿題になってたところは、
0:14:45	現状、残りの部分すべてに対して作業が、
0:14:50	ある程度できたと思ってましてそれが先ほども説明した 99 ページ以降 になります。
0:14:56	はい。
0:14:57	これに対して、前回 12 月 1 日に出しますよといったものも含めて、追加 をして、全体の条文をカバーして整理をしてきたと。
0:15:07	いうことでございます。
0:15:09	こういった作業をすると最終的にどこに行き着くかというのが、
0:15:13	149 ページ以降の、
0:15:17	説明グループの設定の、いわゆる各
0:15:20	御説明グループで説明する隅括弧の、項目、説明すべき項目がどうい ったことがあるかと。
0:15:27	ということが、添付されていくということでございます。
0:15:32	現状の作業の状態ですが、

0:15:35	今まで例えば確かに 149 ページにいきますと、外部衝撃説明グループ 1 の項目差異の 1 のところ、本説明グループで説明を行う関連条文というところが、
0:15:49	外部衝撃の火山外部火災とかいろいろ項目を受けて書いてました。それの方、
0:15:59	説明すべき項目を一旦全部抜き出した結果を、
0:16:05	158 ページ以降に表にしまして、
0:16:10	その中で、この 158 ページ以降の表でいう右から 3 番目で、
0:16:16	ある種類型みたいなものがないかということで、左から 2 番目にあるものを、全体ながら、あるキーワードで良い形をするという作業をします。
0:16:28	その上で、頭の方の 149 ページの下の表の中での隅括弧にのっていつているということでございます。
0:16:37	こういった作業今一連やって、説明グループの設定の説明すべき項目ある隅括弧に抜け漏れがないように、整理をしているという状況でございました。
0:16:48	はい。説明は以上です。
0:16:51	規制庁山口です。それぐらい成長側から確認お願い。
0:16:59	規制庁の藤原です。
0:17:00	まず、清野、整理の部分の、衛藤添付のところはもう、先ほども説明あった通り、グループの方に入っているので、
0:17:12	エッセイの要求、
0:17:14	事故の整理のところ、今度、
0:17:16	のところだけ、
0:17:18	確認をしてあともうグループの方の資料とかの方に入ってきたらいいのかなと思ったんですけども、
0:17:25	基本的にはまだできていないというかヒアリングを踏まえた整理っていうのはまだ聞いていない状況で、それをどこまでできましたっていうのと、できてない部分はこれですっていうのが、
0:17:36	整理されてはいる、いて、
0:17:39	前回の
0:17:41	ヒアリングを踏まえて整理しなければいけないっていうところを、まだ未着手な部分について確認していると。
0:17:52	基本的にはこちらからお伝えて、認識を合わせていこうとしている部分。

0:17:58	がピックアップできているのかなというふうな認識ではあります。であれですかね作業が、2時間かかるものがやはり手がついてないという状況かなと思っていて、
0:18:09	少し記載を適正化するなりっていうところを少しだけ作業すればできるみたいなところを、今回手をつけられたプラス、ひもづけ。
0:18:19	ていうのをされたっていう認識でいいですかね。
0:18:23	はい。日本原燃石田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りかと思えます。例えば特に7ページのところにあるのは全体の方針をしっかりと決めて展開を見ていくと。
0:18:34	いうことが必要でありますので若干時間を要しているということでございました。はい。
0:18:40	規制庁の藤原です。
0:18:43	私が確認したいのはその、まだできてない部分が多かったのとあと紐づけのところを確認したいので、後の資料の方で確認しようかと思っておりますが、規制庁側からの本文の方で、
0:18:54	少しコメント等ある方いらっしゃいましたらお願いします。
0:19:02	規制庁岡です。
0:19:03	あと先ほど1ページ目の1目的の三つ目のレ点で、
0:19:09	個別のSA事象の方も、
0:19:14	別の方でやっている。
0:19:16	説明すべき項目の方だけの抽出でこうされるっていうふうに、
0:19:21	現状おっしゃってましたが、ここは要求事項を抜き出して、DBと一緒に説明していくのは何かっていう、
0:19:28	実は以前1回して提出されたと思うんですがそこ。
0:19:32	どう考えていますでしょうか。
0:19:46	はい、日本ネシアでございます。私がまだ、すいません岡さんがご指摘されている部分を十分キャッチアップできてないんですが。そうですね。各条文同じようなシート。
0:19:57	作っていたのではないかというような話ですかね。
0:20:02	はい。社長アサノ以前、36条以外にもその個別衛生条文事項の方、
0:20:08	出してきてたと思っていて、そこまで作りこんだんだったら、
0:20:12	今後そっちで進めるのかなと思ったんですが、今日の説明だと、
0:20:16	野瀬アノ説明すべき項目の整理の方で、
0:20:22	江藤と、その個別事項も、
0:20:25	あんまりそこまではやらないということですかね。
0:20:30	はい。乳井ニシダでございますまず

0:20:35	そうですねグループ全体を見渡せばグループ 3 を作り込むためにはおっしゃっていただいている通り、機能を個別の条文で要求するものを、をどう展開していくかと。
0:20:51	いうことは整理を同じように進めていかなきゃいけないと思ってます。ただ現状考えていたのは、ここの 1 点、
0:21:01	1 で言ってる上の、横軸ですね、これに関係するところの設計っていうのは基本、要求種別はちょっと曖昧ではありますが、36 条側で、全条文のセト社の設備の、
0:21:16	いわゆる外的ハザード内的ハザード、あとは景気方針を含めた関連性をキャッチアップしていくということかと思ってます確かに唯一ですね。
0:21:30	例えば添付の 20 ページのように、完全に全部振り回すって言っているものだけではなくて、案外共通方針を 36 条で訴えながら個別条文に振ったりする部分を
0:21:44	確かにあるっちゃうあるので、そこを合わせていくかっていうのがまだちょっと整理が要るかもしれません。はい。はい、規制庁も、グループ 1 を整理するっていう上では、今のフェーズでは、別にそこまで展開する必要はないだろうと。
0:21:59	思っはいたもののグループ 3 では、
0:22:02	やっぱ何かしら工期もづくものが必要になってくるんじゃないかと思って考えていましたので、ちょっとそこまた再整備されるということでした。本当に説明し切れるのか、今の整理で、
0:22:14	というところをお願いします。
0:22:17	はい、日本イシダでございますはい。ありがとうございます。はい。その点、私もちょっと頭を巡らせて考えてみますおっしゃっていただいている通りの部分も確かに、
0:22:27	20 ページのように完全に割り切って飛ばせるところと、割り切りなくて、36 条と個別条文と情報が受けなきゃいけないようなところもあるかもしれないのでそこは、
0:22:38	まずは抜け漏れなくそれぞれ必要な箇所に飛ばせるということをまず念頭に整理をしていきたいと思えます。はい。はい。清帖佐です。あと、4 ページ目で、先ほど室、説明があった(3)の、
0:22:52	下から二つ目のレ点の真ん中のポツ、近隣工場等の火災の整理が、
0:22:57	ちょっとよくわからなくて、これ、敷地内危険物貯蔵施設等の火災は、
0:23:04	それ自身が火災になるっていう火災モードもあって、そのことは、今回、何か考慮してないような気がしたんですが、その整理ってどうなってますか。
0:23:40	前に上西土肥社でございます敷地内の危険物ですよね。はい。

0:23:50	でも敷地内の危険物、それそのものの設計ってんじゃないか。それは1点物が、
0:23:57	森林火災金同様、火災の影響で、
0:24:01	爆発だとかしちゃう可能性があるからちゃんとうましようねって感じじゃないけど、こうして、もう
0:24:08	DBだって言って、うん。
0:24:10	それとの関連性で、
0:24:14	これ、
0:24:18	まずあれだな、海本郷が多分、何を説明したいかがわからないというのがまず一つ目の指摘な気がするので、
0:24:26	まずそこをちゃんとやりたいことを書きましょうか。
0:24:30	ことやね。
0:24:31	はい、三浦でございますおっしゃっていただいている趣旨を理解した上で4ページの最後のポツの青字のところ確かにこれで何が言いたいのかっていうところが明確に、
0:24:43	イメージが伝わらない日本語だと思いますのでその趣旨をちゃんとわかるように、集合種ということをやりたいと思います。はい、規制庁のためですが、敷地内貯蔵施設等火災の
0:24:56	それ自身が火災になって火災モードとなることも評価してますし、ここに書いてある通り、森林火災とか近隣工場等の過疎、石油備蓄、
0:25:08	非火災とかから、火災園、
0:25:11	そっちの火災から熱影響を受けてそれ自身を火災になってしまうということも、防護するっていうその2種類の方も、
0:25:19	うたっていますので、
0:25:22	素行は理解されてますか、TVの方で。はい。はい、上西でございます。それは認識をしておりますので、それぞれに対してどう扱うつもりかということもちゃんと示していく必要があるかなと思ってます。はい、規制庁からその認識があれば。はい。
0:25:38	わかりました。で、あとこれは念のための確認なんですけど、
0:25:43	船舶火災とか車両火災っていうのも、
0:25:47	外部火災ではあってそれが評価上、近隣工場等の火災、
0:25:52	で包絡されるっていうふうに整理がされているんですけど、
0:25:56	例えばSAのアクセスルートなんかの考え方で、前回津波みたいなものも一応考慮しているというふうにあったんですけど、船舶火災とか金、車両火災も、
0:26:07	ちゃんと石油備蓄基地火災とか敷地内危険物貯蔵施設等火災に包絡されるような

0:26:15	考え方になっているのかどうかというところをご検討いただけてますか。
0:26:22	新居上西様でございます。ちょっとそこは整理が要ると思っております
0:26:30	船舶火災の方は、おっしゃっていただいて船舶火災が起こる可能性のあるところと敷地の距離で、
0:26:40	ミイ以上は、石油備蓄火災に包絡されるという、いう説明をしています。通常の状態であればSA設備に対して同じだと思いますので、各それがSAのいわゆる対処時に対してどうかと。
0:26:55	いうことでいくと、製図の対象時ってもう結局は対応する水場に一番近いのが沼なので、ここに船舶が来ることは基本アノ火災を起こすような船舶ですね。
0:27:07	劣化が来ることはないということから考えるとその位置関係はあまり、DBで言ってる位置関係と変わらないのかなということだと思います。
0:27:16	あとは車両火災ですね、車両火災は道路また入れるかそこで車両が走るかっていうと、
0:27:22	自分の火災がどっちかっていうと、いや、
0:27:27	これって、許可にも、この近隣のそういう船舶とか車両も含めた外部ハザードを考慮するかしないかっていう整理は、許可の中でもやってるんですよ。それぞれ針葉樹1 対処時、
0:27:40	違う。
0:27:41	お感じでしょうね。なんかどっちかっていうと感じだと、DBの江角川名君だから、条件的にはあまり変わらない、使用後は使用時にそんなことがコラボするかっていう。はい。
0:27:53	何らかの要因です。
0:27:56	はい、二宮でございます
0:27:59	いわゆる
0:28:03	ついで言っている。
0:28:05	要求事項、先ほどのあれですね。
0:28:08	いわゆる
0:28:10	7 ページで見たよって言ってるところの全体の方針というところ、これとの関係でも、何を対象にして考えますかっていうところの整理かなと思います。
0:28:22	前回言葉どこから乗ってきてますかっていうところで言葉遣いがバラバラだって言ったところ、もう私が思ったのは、
0:28:32	SEでいう行数経営方針を、
0:28:38	探したんですね、どこだ。
0:28:42	環境要件なと思って。

0:28:45	3番、13番。
0:28:49	違う、違う。
0:28:52	伊賀オクっていう、
0:28:55	なんかみんな誰に聞いてもないって言うんだけど、
0:28:58	何だろうって思ってたのは、
0:29:02	ちょっと間違ってますみません。
0:29:20	どっちもです。
0:29:23	引地タケナカ力が低い数ですね。
0:29:27	勝です。使うときは、
0:29:29	そこに人がいる。
0:29:32	すぐわかる。わかる。
0:29:36	人事。
0:29:39	48年、基本的に重大事故ちょっと言葉遣いが、対象を選ぶときの言葉遣いになってますけど、基本70、36条の72番。
0:29:51	21ページですかねある、重大事故工事における敷地及びその周辺への発生の可能性、重大事故大雪の影響どう事象進展速度を事象進展に対する時間への観点。
0:30:06	これ一たものを、影響度ってところは重大事故の起因になるかならなかつてところも含めて考える呉いのがベースなのかなと思ってますんで、こういったことをベースに、先ほどの船舶火災も含めて、
0:30:20	整理ができればと思ってました。ずれちゃうんです。何も触れないっていうのがおかしいけど、結局SAとDBと、多分考え方はこっちで考えても何か、
0:30:30	同じになるなというところに行き着く話ではあったのでちょっと検討した上で、
0:30:36	どっかその火災関係のところ、こういうものはDBでも評価に包絡してるけどSAの考え方も、
0:30:43	包絡できるものになってますみたいなことを少し、
0:30:47	記載しておいていただいた方がいいのかなと思いました。
0:30:50	はい。宮城ニシダでございます。しましたそういう意味でいくと、今回DBとの紐づけでいくと、外部火災で言う、ある近隣工場の火災とかいうところに、
0:31:05	売るわけですが、AとDで振った先は当然その前に船舶火災なんかは、こういったものに包絡されますよっていう設計方針があって、落ちたところはそういったものを除外したというかそういったものが包絡されるということを前提に説明をしていると。

0:31:22	あとはエッセイ特有としてSAをそこに飛ばせばですね、自然的にSA設備とDB設備を同じような設計の展開になると。
0:31:30	あとはもうこの整理をするときに、使用人のことを考えて、何らか付すものがあるのであれば、いわゆる米英にかな、
0:31:39	どっか※1か、※1とかで整理をしていって、特有なのか、それとも包絡されるという関係が一緒なのかと、いうことを整理していくということかと思ってますんで整理を進めます。はい、規制庁ですよろしく願います。
0:31:54	今その整理しているって言われた、今回3ヶ所ぐらいに書いてこられたものっていうのは、
0:31:59	グループ1を審査会合にかけるという意味では、もしかしたら全部これ、
0:32:05	間に合わない。
0:32:07	いいかもしれないっていうところですがその辺の何か時期的関係、結果っていうのはどうなってますか。
0:32:18	はい。乾ニシウラでございます。
0:32:22	未対応と書いて5ページはあまり隅括弧には影響しないかなあと思ってますので12月の会合のとの関係でいくと、
0:32:33	説明グループの設定に直撃することはないのかなということ。
0:32:38	また7ページのところが、全体的な方針がある程度ないと、
0:32:44	それぞれの説明のリンクージュっていうんですかね。
0:32:49	が、うまく説明できない可能性も大滝市もあるかなと思ってるんで、7ページに書いてあるところは早急に整理をしていく必要があるんじゃないかと。
0:33:00	思ってます。そうしないとここで言うと、8ページ以降で言う、それぞれ特殊性があると言ってるオオノ増見括弧の視点がですね変わってきてしまう可能性もあるのかなと。
0:33:11	いうところですよ。
0:33:13	10ページの状況は
0:33:16	きちんと言葉できない部分是对应できてなくても、多くには影響ないのかなと思っておるところでございます。はい。はい、規制庁は、7ページの全体像的なところはやっぱり
0:33:34	ゴトウで、承知しました。
0:33:38	私から以上。
0:33:42	規制庁、大内ト部このSAの要求事項の整理の本文、
0:33:48	関係ですから、
0:33:54	規制庁不足です。

0:33:59	よくわからなくなっていて申し訳ないんですけど、
0:34:05	まずは、そう。
0:34:08	3 ページの頭の悪影響防止云々と。
0:34:14	いう。
0:34:16	ごめんなさい。もっと頭種 1 ページ目の 1 ポツでの、
0:34:21	多様性位置的分散から踏まえてというところで、
0:34:26	個数要領わ一個別条文で昨日のことを踏まえないと、
0:34:33	数字として出していけないのでそちらとコラボしますよ。
0:34:39	いう趣旨は理解をしつつ、
0:34:42	位置的分散と個数、関連するいうところをどう扱うつもりですか。
0:35:00	はい。与儀ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいている非常に私も悩んでますというか、 $2N + 幾つ$ と言ってる数等を、
0:35:13	確保するという意味が、いわゆる位置的分散のことを考えて必ず N が残るように考えるんだということ、かつその N が残ればいいというのは、ヨシダ重大事故対象の
0:35:30	系統構成なり、イの話との関係で、その関係性が成立するという説明がセットでないと、一連の説明はクローズしないというふうに
0:35:42	私は思っています。ただ今グループさんとグループ 1 で分かれている部分を、そこをどうやろうかといったときにはグループ 1 ではある種義務の情報として与えて、グループ 3 でその根拠なりを説明すると。
0:35:58	いう形にの整理になってしまうというところが本当にそれでいいのかっていうところをちょっと頭センターというところでした。はい。
0:36:06	はい、古作です。
0:36:09	そうなんです。どっかで切らないといけないので、それが前回の宿題だったわけですね。
0:36:15	ここで言うんだったら、まず 1 滴分散っていうのを何ヶ所に分散するんだとか、は一井関係のところは押さえておくと。
0:36:28	そのうち、どのエリアワー
0:36:34	同時にある事象によって使えないということになるのか、1ヶ所だけが使えないということにするのかと。
0:36:43	いうところの配置のコンセプトっていうのを明確にしておく。
0:36:48	それを前提条件として、グループ 3 で生き残るといったところで必要数を確保するっていうので、そのグループ 3 では、機能が明確にされるので、
0:37:01	必要な個数がわかり、その配置というのが、グループ 1 からくるので、それとセットで考えるとこの場所にこのだけの数、
0:37:14	置いておく必要があると。

0:37:16	いうことを明確にする、できるという形かなあと。
0:37:22	思いますので、そういった関係で、グループ一致でしっかりとグループさんにつなげられるように、ここは守りますというような宣言をしてください。
0:37:33	はい、乳井首藤でございますはい。ありがとうございます。はい。グループ1での視点というのも含めて整理をして、
0:37:43	兵頭委員の中に何を説明すべきかというところにつなげていきたいと思っておりますはい。
0:37:48	はい。補足です。次が先ほど言いかけた3ページ目で、
0:37:54	言葉じりの関係にはなるんですけど、
0:37:58	DBで行っている内部発生飛散物云々っていうのは、基本波及影響防止と、
0:38:05	いうことであり、それは何かというと被害者側、
0:38:11	自分が被害者にならないようにすると。
0:38:15	いう主語は安重なりというところで、
0:38:21	の被害者っていうこと等を意識をし、
0:38:26	一方でSAは加害者にならないようにと。
0:38:30	いうことでの悪影響防止と、
0:38:33	言っている。
0:38:34	ていう理解で書いてますかね。
0:38:38	はい。日本以上でございますはい。そういうつもりで書いてましたはい。
0:38:44	はい。補足です。一方で、でも、その関係ってDBだって一緒じゃねって。
0:38:50	んですけど。
0:38:52	その点はどう認識して書いてます。
0:38:58	そう言われればそうです。やっぱ条文要求としては明確には書いてないんですけど、自明なところとしてそういうものですよ。
0:39:08	会計基金の中にアンリュウの排風機が入ったりわかるんで、加害者被害者どっちにもなり得るっていうところはあんま同じじゃおかしいですねはい。
0:39:19	はい、コサクです。なので、表現ぶりとして、
0:39:26	どうするのがいいのかなとちょっと悩ましいなと思って読んでたんですね。で、現状は条文要求として書いてあるものがどこに埋め込まれるのかっていうのを明確にするために、
0:39:37	書いているということであって、暗にそうなるよっていうようなところについては、実態として資料3、4で説明する際に、
0:39:50	変に、

0:39:52	除かれちゃったり、
0:39:55	部分的な説明になっちゃったりということがないようにしといていただければいいかなと。
0:40:01	と思いますが、
0:40:04	現状の記載だとそれが悪い方向に向きやしないかなってというのが不安。
0:40:10	何で言っておきます。
0:40:13	で、現状あれですかね、先ほど言ったようにその条文要求の当てはめっていうところから、
0:40:21	波及影響防止は分解して書かれているのでその授賞受賞というか、
0:40:26	病院の
0:40:28	実証ってことなの、関係から書いていて悪影響防止はまとめて、事象とではなくて、
0:40:36	まとめて書いてあるので悪影響防止と書いてあって、それを適宜、埋め込んでいます。
0:40:42	ということで理解をしておきます。
0:40:47	が、一応認識はそういうことでいいですかね。
0:40:50	はい。乳井西田でございますはい。おっしゃっていた通りでございます。ただおっしゃっていただいたように最終的に資料3とかに展開する時に抜けがないようにってところは、
0:41:01	何だかちょっと手当をしながら進めていけるようにしたいと思いますはい。はい。補足です。その上でですね、3ページのレ点四つにわたって書いてますけど、
0:41:13	悪影響防止の観点ってというのが内部発生飛散物と竜巻。
0:41:19	だけではなくってっていうことなんですけど。
0:41:24	それは、
0:41:25	その最後のレ点で16条云々と書いてありますけど、
0:41:29	それ以外の扱ってどういうふうになってるんですかね。
0:41:36	基本的に事象全部について悪影響防止になってないといけないっていうことだと思うんですけど。
0:41:47	はい、乳井西田でございます今古作さんって言われるのはいわゆるDBで言っているいろんな事象に対して、それを起因として悪影響を与えないように、
0:41:59	しないといけないということが、有休事項だとすると、単純に内部発生飛散物の話と、竜巻だけを書いてあと系統コストはサカイでも、
0:42:10	全体カバーできてないんじゃないかということですかね。はい。

0:42:14	わかりました配布しちよるん意味で完全に今抜けてる感じがするので、その整理もしないといけないですねはい。
0:42:24	はい。古作です。内部発生飛散物竜巻は個別で立ってて、そこで合わせて説明するって意味でこう書くのは構わないんですけど、こう書きちゃうと、他はどう、どこにあるの。
0:42:37	と言って抜けてるように見えちゃうと、
0:42:39	ということがあるので、その辺りもちゃんと拾って説明いただきたいと。
0:42:44	いうところですよ。
0:42:53	はい、乳井西田でございますはい。ありがとうございます。ちょっとその点、ちょっとぼやとしてたのはい。入れていけるように話を進めます。はい。
0:43:12	規制庁コサクですその関係では7ページで先ほどのその未反映事項と、
0:43:19	いうところのあの部分は少し話をできたかなと。
0:43:25	思います。それが二つ目のポツですね、一つ目のポツの、
0:43:33	話については、今回少し整理をされ、
0:43:39	入口としては整理を少しされてきたような気もするん。
0:43:43	ですけど、
0:43:45	アリタベップ. ゴコウミラウ。
0:43:49	別添を見るとですね、
0:43:57	迷う①については要因ということを考えてと。
0:44:02	というようなところをポイントとして、
0:44:04	説明をされて、
0:44:08	行って、
0:44:10	②については、前は少し形式的にベタ張りしちゃってたのでわかりにくかった
0:44:19	と。
0:44:21	もあるかなあと見てもいたんですけど、マルチでもある。
0:44:33	移動させ、
0:44:36	ることが可能と。
0:44:39	ということ退避とかっていうのと、
0:44:46	運用具。
0:44:48	上の措置が容易ということで、
0:44:51	措置を踏まえた対応にすると。
0:44:55	ということというので
0:44:58	或いはその合わせ技と、
0:45:01	いうものとあってという感じはするんですけど。

0:45:05	ちょっと形式的すぎる部分があって最初の津波でいうと、
0:45:11	全部が移動させることが可能ですかっていうとそうじゃないですよねっていうのは前回も話をしたような気がしてて、
0:45:17	その点はちゃんと書きくださナイトウ、誤解を与えて間違っ方針になり、運用になりっていうことになるような気がするので、
0:45:28	しっかりとその何を移動させることで、トータルとしての機能、
0:45:33	満足させるのかで、移動させないものについてはどう対応するのかと。
0:45:39	というのが明確になるようにしといていただきたいと。
0:45:47	はい。日本原燃石田でございますはい。特に先ほど、三原事故と書いてあるのが9ページの②番のところ、前回から青字になってない意見に変えてなく変わってなくてですね、海域でないと。
0:46:00	ということで今おっしゃられた10ページの一番下のポツですかね、津波の話も、退避の話っていうのは、何を対比されるのか予備で対応するものが何か、全体コンセプトもあわせて、
0:46:13	整理が必要だという認識を持っていますのでそういったところを、順次反映していくのかなと思ってました。
0:46:22	前回出た話で
0:46:27	あと例えば積雪のところもう日常点検をしいた上での措置が容易であることを踏まえてもともと何が言いたい運用上の措置なのかっていうのと、提言するっていうことに対する除雪の話との関係、こういったものの関係で何らか、
0:46:42	設計上配慮することがないのかということも含めて、整理が必要だと、いうことだと思ってましたのでそういったことを整理していければと思っています。はい。
0:46:51	はい。こちら辺はあれですよ内容が、認識できてないっていうことではなくて単純に今後の問題かなっていう気がするので、
0:47:00	対応いただけるものだと思ってますけど、大丈夫ですよ。
0:47:05	はい、宮西でございます。はい。ここの問題が一番難しいんじゃないかと思ってます。はい。
0:47:15	はい。補足です。
0:47:20	②はそれで課題になる。
0:47:23	③はっていうのが、
0:47:26	こちらも手が入って要因ということで、
0:47:30	わかりやすくされているということですし先ほどの2Nみたいな話は、
0:47:38	1と3の間、グループ1と3の間で、整理をしていくと。
0:47:43	というようなことの中で対応できることかなと思いますので、
0:47:48	よろしくお願いします。

0:47:51	先ほどちょっと微妙な感じだったのが 10 ページ
0:47:56	の下に書いてある未反映事項ですけど、
0:47:59	操作性は結構ポイントになってて、未反映のままだとちょっと厳しいですけど、どんな
0:48:10	ことになるんでしょう。
0:48:17	はい、柳下でございますそしたらもうこの 2 月、12 月 4 日の時点での自販機事項全体、8 日後の時点ではIFしようと思ってます。
0:48:28	そういったことで 1 呉にも考えて対応していければと思ってました。はい。
0:48:41	どうも。
0:48:43	えっとちょっと、前回のこのコメントの趣旨なり、対応の範囲みたいなところがちょっとよくわからないので、確認なんですけど。
0:48:53	ここで書いてるメモだと接続コウの部分操作性だけを論点にしているようなんですけど、
0:49:03	操作性っていう、
0:49:06	大枠の対応において、DBとどういう関係にあるのかと。
0:49:12	いうことが重要なと思うんですけど、DBでも操作性は当然あるはず。
0:49:22	要求なりの体系が違うので、明示的に大事にはならないんですけど、
0:49:28	そのあたりどう考えてるんでしたっけ。
0:49:40	ちょっと待って。
0:49:47	ん。
0:49:48	難しい委員会。
0:49:57	規制庁の荒井ですけど。
0:50:00	多分これ私がしたコメントで、日本語はうまく通じないんじゃないかっていうコメントが趣旨だったと思ってて、
0:50:07	コメントしたところって、①の方だったような気がしてて、
0:50:15	8 ページ目の、
0:50:18	①の溢水薬品の 87 番ってところで、
0:50:26	接続工自体が機能喪失するわけじゃないんだから、何が機能喪失するのか明確にした方がいいんじゃないかっていうコメントだと思ったんですけど、そんな印象。
0:50:40	今、
0:50:41	新井さん言ったのは、認識は、うん。
0:50:44	これはエミ君。
0:50:46	牧田ヨシノ委員。

0:50:53	いや、だから操作性の話が本当にこの一斉の話だけだから、操作性だけでまだいいのかって話なんですけど操作場所全体の話をまず言うように、操作に対しての放送としてはきちんと、前優音です。
0:51:08	上で、それから、ある人が、この 1、1 と結構推移して操作状態に対して、こういうことをやりますっていう。
0:51:19	サブを示したい。そういうことからいくと、全体の言うてるこの添付 1 の表との関係も示しとかなないとこれってわからないね。
0:51:30	操作性がこういうふうになってたんだっていうの本分岐ちょっとチカチカして、これなんか、この証明なものは全部、
0:51:50	16 事象で発生する溢水や系統を紐付けて、操作性っていうのを整理していくんだっていうのを、
0:51:57	ピンクが入ってるんですよ。
0:51:59	はい、衛藤コサクです。今のその操作性について書いていると言っているのを添付 1 のどこかというのを話してもらっていいですか。
0:52:13	ユフ. ホソノって来ると。
0:52:19	109 行ん
0:52:23	先ほど、北井です。
0:52:29	36 ページ。
0:52:32	仮想 140-1 から操作性が来て、
0:52:35	ちょミキを作って、だからあれだよ。操作性に影響を与える要因。
0:52:42	ぽいぽいっていうか事象に対して、とりあえず印計上図りましたって、
0:52:48	いうことなんです、141 だと、実践報、火山、あと溢水化学薬品、
0:52:57	対象にして、
0:53:00	その状況下でも操作ができるようにしますと。
0:53:06	プラス、環境条件との関係でいくと、16 条の案言うとの関係も出てきます。整理をして、
0:53:16	古作です。ありがとうございます。
0:53:23	この辺り、今回Dの方の設計方針の番号とも紐づけをされたっていうことなんですけど、
0:53:32	小令和、
0:53:34	この番号ってどういうことが書いてある場所ですか。
0:53:39	思った以上に複数、
0:53:41	の、
0:53:42	番号が振られてたりするんですけどこれはやっぱり一対一になってないから、
0:53:48	幾つか関連するところを引っ張ってきたっていうことなんだろうなと思うんですけど、どんな状況でしょうか。

0:54:05	ちょっと待ってください。
0:54:14	うん。特に、気にしているのが溢水なので溢水 27323435。
0:54:22	いうところを例示してお話しただけるといいか。
0:55:02	弓削ネシアでございます。一声でいくと今 27 番が没水の影響に対する評価及び防護設計の方針といって一番頭に出てくると。
0:55:15	んどこですね。
0:55:17	32 番が、黒野スロッシングに対する評価予防設計方針というところの一番頭にくるところ。
0:55:28	34 番が、屋外水のところの話。
0:55:35	35 番も一側が一斉の中の内数ですね。
0:55:40	屋外水が溢水防護建屋に対する評価と防護設計と、屋外の防護対象設備に対する石塚と防護設計が分かれているのでそれで 3435 と。
0:55:51	いう関係になってます。
0:55:53	唯一今、そういう意味でいくと被水と蒸気が外れている。これがどういった状態の時に機能喪失するかっていうSA設備の、多分、
0:56:05	特徴を踏まえて対象を選んでいるということです。ただそこが、
0:56:10	まだ書き合わせてない単純に振ってるだけなんで、そこを対象から外してることっていうの考え方を、
0:56:18	ここに書くとわけわかんないから、どうしよう。
0:56:21	どっかにちょっと別表で角度がちょっと考えます。はい。
0:56:25	古作です。
0:56:27	あんまり、何ですかねここそういうことをやるというよりは飛ばしてSAには何ありませんって、
0:56:37	DBと同じように、資料 3、4 の中でしっかりと一つ一つ説明する方が得策かなとも思うんですけどいかがですかね。
0:56:49	はい。乳井石田でございますはい。そういう意味でこの段階で整理することと、資料 3 案なりをどこで明確にするところって線引きをして、この段階で明確にできるところの範囲っていうのを決めてその中で、
0:57:04	必要なことを変えていくという意味で今おっしゃっていただいて、まず 1 セガワとのリンクージュってところを図れれば、このままその関係がこちらには飛んでいってディー・ディー・エスコラボで資料 3 なり、展開をされていくと。
0:57:19	ということでそれぞれの特徴を踏まえて必要なことを資料 3 の絵で迎えていくと、ということだと思いますので、そういった整理で紐付けをできればと思います。
0:57:28	はい。不足です。ちょっと先走った感じにもなるんですけど、
0:57:35	今のところ結局溢水のオオモトNo設計方針のところ、

0:57:42	入れてことだとすると、
0:57:47	評価対象なのか、附属での評価事項なのかとかっていうのとかの仕分けもなく、
0:57:54	入っていくってことで、
0:57:57	アクセスルートだと、
0:58:02	何だっけ。
0:58:03	DBなんか、アクセス通路部ということとの対応関係とかですねそういう具体的に何をDBの、
0:58:15	どこと対照付けて議論するのかっていうことがわからなくなる。
0:58:21	ただ紐付けにはなってるんですけど、
0:58:24	そこわあ、この紐付けでどういうふうに、DB、
0:58:28	の序文行った時に合わせていくのかっていうのになるんでしょうか。
0:58:33	はい。与儀インダでございますそのケアがまだ十分できてないと思っ てますんで、
0:58:39	私が思ってる姿の通り行こうと思うとおっしゃっていただき対象を特定す るところと、その設計を語るどころ、両方に飛ばしに行くというこ とかなと思います。
0:58:54	あと例えばですけど、ある種、頭んところに飛ばせば、その対象の選定も 含めて必然的に同時に、多分その階層が進んでいくような場合は、
0:59:05	頭に飛ばせば必然的になるんですけど、溢水の設計方針を見ても、対 象の特定みたいなものってのはどちらかという頭の方に来て、
0:59:17	そのあとにそれぞれの没水だ被水だといったことに対する、評価だとか 防護設計を語っていくので、この
0:59:27	対象を選ぶところに、操作場所なり操作する設備っていうかね、接続を 設置する設備っていうのも、ちゃんとその場所も考えなきゃいけないよっ ていうフラグを、
0:59:39	飛ばすということをしないと、それぞれの隅括弧で何を説明するかじゃ ないですけど、抜けてくるのかなと思いますんで、そういった整理を多分 するっていうことを多分大前提で、
0:59:52	大枠の方針をまず示しておかないと、多分皆同じように性採用できない と思うので、そういったものの整理をしていければと思ってました。
1:00:01	はい、わかりました。
1:00:04	ここでそのSAとして、
1:00:06	こういう操作場所の確保と、
1:00:10	いう視点をしっかりとDB条文側に、
1:00:16	もたらすと。

1:00:18	それを実現することによって、DBの方の操作場所の確保ということも、明示的ではなかったけど明示的に扱えるようになって、
1:00:30	全体として合わせて評価をしていくと。
1:00:33	いうふうにしてもらえると、結果オーライかなと。
1:00:36	んですけど、いかがですかはい。はい。弓削イシダでございます。はい
1:00:42	SAおっしゃっていただいたようにSAの視点で出てくるものっていうのを、D2、バス時にですね、DB側で受けたときに、本当にこれってSA特有なのっていうところで、
1:00:53	気づきが生まれ、ADD側もやっぱりこれ同じことやらなきゃいけないよねってところに繋がるってのはおっしゃる通りかなというところはあると思います。はい。そういった整理もしていけるように、全体構成していければと思っています。
1:01:06	はい。補足ですよろしくお願ひしますそれで大分溢水とかでいろいろと揉めていた話が、解決の方向に向かうのかなと思いますのでよろしくお願ひします。以上です。
1:01:21	今の、全体的に整理されるってことだったんですけど、資料でどういうふうな感じで、
1:01:30	表すみみたいなイメージって何かあります。
1:01:34	操作性の項目をこっちにお渡しするというか、その分が1点。
1:01:39	疑義がない。
1:01:42	僕ら本文なりのところで、この飛ばしの考え方をちゃんと書いて、
1:01:51	コサクさんおっしゃっていただいたようにいろんなパターンがあるんでそれをパターンとして認識して、条件として飛ばすものもあればそれをどこに飛ばせばいいんだ。
1:02:02	対象として飛ばすものがあるように、対象飛ばすときはどこに飛ばすの。
1:02:06	設計として飛ばす場合どこでリーケージ測ればいいのかっていうところの考え方を、多分整理をして、この添付1の資料上は先ほどの27年から始まったところに、
1:02:16	対象選定のところがリンクージの一つとして追加をされるというイメージかなと思います。ただそれを最終的にコラボしていった、添付1みたいな形になったときに何でこれリンクされるのかっていうのは、
1:02:29	先ほどのような操作場所みたいなことを考えなきゃいけないっていうところの情報も付して、リンクが図れて、ディー・ディー・エスの、
1:02:38	なんででしょう。
1:02:40	共通性、

1:02:42	不整合がないかという点での、ブラッシュアップしていくというところに繋がるのかなと思ってました。
1:02:48	ちょっとコサクです。大きくはずれてないと思うんですけど、次のバージョンD、隅(ウ)での文言整理が入ってくると。
1:02:58	ということで、その際 2dBそのまま使えばいいってことであればDBの住処をそのまま使えば良くなるんですけど、プラスアルファがあるといったときは先ほどの括弧で書いていくということもあると。
1:03:12	で、今みたいなDBで明示的ではなかったんだけどSAで名g的に扱っていてそれをDB側が受けるというときに、DBも使うということであれば、隅括弧が一つ、DBも含めての全体の追加になる。
1:03:28	であったり、どっかにマージして、括弧書きと同じような感じで明示的にすると。
1:03:34	いうことかなと思いますので、次の状態でエミていければかなと思います。
1:03:43	はい、日本イシダでございますはい。ありがとうございます。おっしゃっていただいたように店舗のSsLでプロジェクト番号が追加され、先ほどの
1:03:53	説明グループの角加古を出してく時には先ほど私申し上げたDBの黒字のものも足して、全体がわかるようにするというときに、先ほどの番号とのリンケージで飛ばした先のが、同じであれば黒字のまま、
1:04:07	先ほど操作場所みたいなものは考えなきゃいけないねって整理フナダダテば、一旦また赤字で、多分括弧書きに積み替えて書いて、これは傍証的に本当にそれでいいのかみたいな議論になるというところで、繋がっていければかなと思いますはい。
1:04:28	クリタのフジワラです。
1:04:30	藤哲成の方も
1:04:34	添付1とかの話にもなったので、
1:04:38	グループ側のこちらの表でもいいですし、
1:04:41	その辺り全体にわたってに、
1:04:45	議論を移していこうかなと思います。
1:04:52	まあ、もし文書等でもまだ気になる場所があれば、ちょっと戻っていたいていいかなと思います。
1:04:57	もうさっきの表を見始めたので、これ、さっきのSAの要求事項の方が、ページ数が少ないのでこっちで確認していきたいんですが、今の長屋
1:05:10	からするともうわかるようになるのかもしれないんですけど、紐付けの番号を選ばれている考え方みたいなのが、やっぱり今、文書のところにもなくて、
1:05:22	あと、

1:05:23	展開されていく、コラボした時の隅括弧、何がまだ整備できていないので、ちょっと理解がしづらい状況なのかなというふうに思っているんですけども。
1:05:33	例えば 13 ページの以浅要求事項の整理の方の 13 ページ。
1:05:40	のところに、
1:05:43	最初の 14、36 条の 14 番なんかは、基本的に、
1:05:49	常設重大事故等対処設備に対しての大枠の話が書かれているところでいろいろ〇が打たれていて、
1:05:55	いると。
1:05:56	その時に竜巻なんかは 14 から 19 ってこんな番号がついていて、
1:06:02	衛藤。
1:06:03	この場合この 14 から 19 の中には、タケヤの話とかも入って、
1:06:09	いたと思うんです。
1:06:11	そういうのも含まれている理由はなぜかとか。
1:06:14	もしくは不明すぎているのか。
1:06:17	みたいなのが、ちょっと今あって、まだその次の段階のところまでできていないから、そこら辺の精査って、これからっていう状況なんでしょうか。
1:06:29	はい、与儀志田でございますまず現状作業してもらってる側がですね考える紐づけ先とのリンクを図ってもらっている状況です。この間が先に私が全体方針どこにつなぐんだと。
1:06:42	いうところの考え方、今言われた常設重大事故対処設備だと言っていたり、建物いった建物に外部衝撃を与えられる建屋に収納することで機能を損なわない設計と言っていたいろんな、
1:06:55	設計方針の文言の形態があるので、それぞれに対してどういうところに飛ばせばいいかというところの全体の考え方を、まずは作らないと、共通性は見いだせないかなということを考えてます。あと
1:07:10	非常に自分たちでやっておいて恐縮なんですけど、DBの業績方針も前回は通常関係とかを示したように八条ですが、事象によって凸凹感ありアノがあつてですね。
1:07:23	そういったことも含めて全体整理をしていかないといかんなと思ってたところでした。
1:07:29	一つ前回、樹形図じゃないですけど関連性を整理するとお約束して週末やったんですけど、
1:07:38	バラバラですっていうところで、そこも含めてちょっと整理をし直さんとあかんかなと思ってたところでしたので、そういったものを全体コラボして、

	うまく収束していければとターゲットが明確になって飛ばし先がそれぞれ、ある種類型化された。
1:07:54	土橋滝になると、いうことかなと思ってます。はい。
1:07:58	古作です。今の階層を明確にするところでバラバラだったところ。
1:08:07	うん。
1:08:08	類推すると、
1:08:11	あるものは、1階層から順に4階層に分解しているところが、1階層からいきなり4階層にいつているとか、
1:08:21	124になったり、134になったり、
1:08:24	であったりと。
1:08:26	或いは2階層で止まってしまって具体化が図っていないと。
1:08:30	ということだったりっていうようなことかなあと思うんですけど。
1:08:35	内容がどういうレベルの話なのかっていうことを踏まえて、一番細分化してるもので階層を変えてみて
1:08:44	です。他がどういうそれとの関係でどんな感じかっていうのを意識しながらある程度書くと。
1:08:51	ある程度の絵にはなるんじゃないかなと思うんですけど、どうですかね。
1:08:57	はい。日本インダでございます。はい。ある程度の絵になりました。はい。
1:09:02	あと後は、会って思ったのは、榎並ですけど、2階層目3階層目に4階層に出てくるものが、同じ番号のものが2階層入れてきたり4階層にキタニ3ヶ所出てきても、
1:09:16	むちゃくちゃな状態だったので、そこを基本設計方針の内容を見て、階層を作ろうと、変な意味ですけど、1階層目がですね。
1:09:26	いっぱいあったんですよ。ひどいやつは、
1:09:28	それぞれ走ってるんですけど、1階層目の一つ目のヤノ3階層目が、二階層二つ目の1階層面なってる人の子供になってたり、
1:09:39	それが抵抗になってたり、そんな状態だったところは別に日本語を書いてるわけじゃなくて、その内容を見て階層をちゃんと決めようよっていうところなのでそういった整理は一応、週末の段階でできてます。はい。
1:09:52	工作ですその意味だと紐づけの仕方がちょっと粗かった、方針ずれがあったということで、階層化を整理することでようやく全体統一が取れたっていうことかなと理解しましたけど合ってます。
1:10:08	はい、弓削石田でございますはい。おっしゃっていただいている通りでございます。
1:10:12	はい。わかりました。そういう意味ではお願いしてよかったかなと。

1:10:16	思いますので、その上でどの階層に衛星をつなぐのが基本か、或いはこういう場合はこっちこういう場合はこっちと、
1:10:24	というようなことでの考えも整理がつけられるんだと思いますのでよろしくをお願いします。
1:10:32	規制庁の広井です。
1:10:34	全体的に、今までの話で結構この紐付けなんかの整理はできていくのかなと思っています。で、刀禰のためにお伝えする等、まあさ、先ほどの作業とかをしていただくと綺麗になりそうな気はしているんですが、
1:10:49	例えば、
1:10:52	外部衝撃の、その他とかで言うと、
1:10:57	さっきの、
1:10:59	14番のところで言うと、
1:11:02	適切なんかは21。
1:11:06	土佐土佐のミキ1ミツイですけど、これって最終的には山の方にコラボするところだと思うんですが、冒頭宣言で、こちらに振ってる。
1:11:17	そういうのもあれば、その横をずっと見ていくと、敷地内における化学薬品の漏えいなんかは、括弧ですね、薬品飛ばしてる先まで書いてくれてたみたいなのところがあるんですね。
1:11:30	その辺のでこぼこはかもまだあって、なので、こういった場合にはどういうふうに記載しましょうとか、
1:11:36	そういったルール作りも含めて検討していただけたら、
1:11:41	結構見やすくなってくるのかなというふうに認識してますのでよろしくをお願いします。
1:11:47	はい。日本イシハラでございますはい。ありがとうございます。はい。ばらつきがまだあるのは承知をした通り、敷地内の化学薬品漏えいみたいな形で当番は滝野サカイに展開を、
1:12:00	も見るかしてどこコラボしているかがわかるようにしていければと思ってますはい。
1:12:09	規制庁の藤村ですよろしくお願いします。
1:12:13	グループの方だと、隅括弧の整理なんかもあるんですけど、とりあえず今の紐づけなんかで、何か、
1:12:21	コメント等、確認等ある方いらっしゃいましたらお願いします。
1:12:28	磯山です。
1:12:33	基本設計のところをどこまで、
1:12:37	三つできるのかっていうのがちょっとわからなくて確認したいんですけども。
1:12:42	資料でいうと、

1:12:47	要求事項の整理の資料の方の、
1:12:52	25 ページ。
1:12:55	ねえ。
1:12:56	番号率 36 条の 23。
1:13:01	イシイの方だと、等価ハラ型重大事故対処設備の必要機能が損なわれない多様性独立性的分散の措置を講ずる設計。
1:13:13	基本設計方針が書かれていて、これに対して、例えば溢水だと、
1:13:19	抽出されてるのが、個性非正常景況それぞれに関する評価及び防護
1:13:27	方針の基本設計方針を抽出されてるんですね。
1:13:31	そのうち、
1:13:33	DBの基本設計方針だと、被水の防護設計とセットで、
1:13:40	数学のナンバー30 とかなんですけど運用要求頼めるあれっていつて、
1:13:46	その運用要求は具体的には、防護対象に対しての容易な合成を行わないこと、諸活動における運用及びいう事項として、
1:13:57	アオキに定めて管理するっていうのを、
1:13:59	井清野川設計とセットでこう書かれてるんですけどそこはそのSAになると、中止されてないイセいうとNo.30 万あそこは飛ばされてるんですね。
1:14:11	これって同じようなことをSA設備に対しては考慮しないのか。
1:14:19	それとも何か一斉だと運用要求として別のところで紐づけてるのか。
1:14:24	それが、
1:14:26	あんまりその後設計には展開されないから、メッセージは抽出しないとか何か、そのあたりの考えとかって、
1:14:33	ありますでしょうか。
1:14:54	はい、日本イシハラでございますちょっとこれDB側の基本設計方針のリンケージのやり方とも関連して、
1:15:05	整理が必要かなと思います
1:15:09	基本この 30 番井清カドイってる 30 万の項目がA品でいると言われる等この 30 番を、いわゆる 28 番 29 番の前提にしていると。
1:15:22	いうことであれば、設計とすれば 27 から 29 に飛ばしておいてもですね、30 番必然的についてくるだろうということでもともとは輪形状を測ってます。
1:15:35	とはいえ、今、セガワのやつを見ても 30 番はどこもリンクしてないみたいに見えるところは、例えばですけど、30 番が、その前の設計方針とのコラボだと。
1:15:48	いうことばかりをしておけば、今の番号に飛ばせばですね、必然的に 30 分ついてくるということかと思います。ちょっと全体の

1:15:57	数段だけの呉井清というニワDB側での示し方も含めた全体の整理が必要かと思います。逆に言うと、
1:16:08	火山竜巻とかの外傷は、これ横並びをはかっている、安全機能を損なわない設計にするっていうのは、
1:16:18	構造設計なり配置設計と運用がセットで成立するということにしているので、全体がその運用側に、コアをしていく流れであると。
1:16:30	ということが基本の方針外でもわかるようになっているので、そういうことからすると、設計側の頭に放り込んであげれば紐付けができるということかと思ってました。
1:16:43	規制庁山内です。書写に今おっしゃられたように、DB。
1:16:48	今までも運用が実験を前提となるけれどもナンバー30をちゃんと運用欲求だけやってるんで、そこにDBの方で紐づけてっていうことで、
1:16:59	必然的についてくるっていうものしか、その整理バーの方が何か綺麗になるんじゃないかな。
1:17:04	ましたけど、考え、
1:17:07	わかりました。
1:17:16	規制庁の藤原です。その他この表の中で、何かある方、いらっしゃいますか。
1:17:23	特になければグループの方の、
1:17:26	資料について、全体的、
1:17:30	2、
1:17:31	あ、すいませんコサクです。今の話を聞いてていまちまたよくわかんなくなっただけですけど、
1:17:37	この表のつくり方って、上からその階層、
1:17:43	下位階層にゆだねるっていうものは、飛ばす記載を展開するということで飛ばす記載をして、飛ばされたところで具体を書く。
1:17:54	いう形でしたけど今の過半でいうと、23番が、その頭かなと思うんですけど、ここで、
1:18:02	もうDに振っちゃってて、下に落としてない。
1:18:07	ですけど、
1:18:10	なんでここでDBに振っちゃうんですかねしたと、独立になっちゃうっていうのは、
1:18:15	他の対応と全然違うような気がするんですけど。
1:18:23	はい、与儀西田でございます。DESまずおっしゃっていただいている通り、ではあります
1:18:34	コサクです。なので、23の自然現象であれば、24に振って、24で今書いてあるものが、DBに飛ばす。

1:18:44	ものになると、ということですね。
1:18:47	はい、日本イシダでございますはい。そういう関係性を整理していかないといけないですね今までやってきたことでいくと、23番がいわゆる、
1:18:57	とはいえ、23と24で一対一なんだっけ。
1:19:03	詳細述べてるんですね常設の方でいくと。
1:19:07	この位置的分散を図るって明記してるのが、この最初のフレーズだけになるんですよ。14番ですか。
1:19:15	違うこと言ってんのこれ24番目。
1:19:17	24番は自然現象だとか人為事象の内訳を、何か詳細に展開してる。
1:19:24	共通要因によってっていう部分の具体を示している。もう、そうだとすると、ちょっとコサクです。だからこれがその階層化の時の先ほどの悩みの一つだと思うんですけど、
1:19:39	1階層目でもう終わっちゃっているものとその内数として2階層に行っているものというのがあるって、1階層で終わっちゃっているものはここで飛ばさなきゃいけない。
1:19:50	2階層目に行っているものは2階層目で飛ばしていかなくちゃいけないと。
1:19:54	ということだと思うんですね。その時に、
1:19:57	そうだとすればどこを飛ばしたのかっていうのを明示しましょうねっていうのを前回お話しませんでしたっけね。そうですね。はい。
1:20:07	これ、
1:20:08	コアなんですか。1ブースんと環境条件と個数容量のコラボ関係踏まえて、飛ばしちゃうともう1回工夫しなくちゃいけないところではあるんで、
1:20:19	それとあわせて、だから幾つかある会社の中で※で飛ばさなくちゃいけないものと、2個目で受けるものって全然何を飛ばしたか、全体がわからないんだよね。ホカホカの設計方針が業務のところでもわかるようにしてるんですけど。はい。ここはできてないって言ってないね何か。
1:20:34	23で述べたやつもイシイの20サンゴ飛ばしてるつもりがなかったののでできてないだけです。
1:20:42	コサクです。23は明らかに、一番最初の第1階層ですべて受けるところ行ってあって、これ藤並びで閉、並列であるものっていうのがあると私は思えない。
1:20:59	です。それが先ほど整理されたという階層の整理の中でのまとめかなと思うんですけど、なのでそれでいうと下に振るものは、ある程度自然現象の枠でまとめて、

1:21:13	下の番号を展開するとカッキーD、こういうものを展開すると書きで、その次の枠のところに、こういうものは個別条文DB降りますよという形で、
1:21:26	今の条文が、
1:21:29	ここに直接飛ばしにいくと。
1:21:31	いうなことで、何を飛ばすかがわかるように書いていってください。
1:21:38	はい。乳井イシダでございます。はい。周知いたしまして整理した上ではいい。同じような展開になるようにしていければと思います。はい。
1:21:48	規制庁の藤村です。すいませんもう1個、この評価の、
1:21:52	その中で、
1:21:53	わからなかった部分があるので同じような展開の話だと思うんですけど。
1:21:58	39 ページにある、153 番から始まるアクセスルートの話なんですけど、
1:22:04	それこそさ、3、353 番が、
1:22:09	自然現象、人為事象というふうに全体的な、
1:22:13	事象の話をして、154 に振って、150 ゴトウに振ってっていう、自然現象が 154 に落ちて、
1:22:22	JAの方は 155 に落ちるんですけど、そのあと 156 までこれって落ちていってるわけではなくて、
1:22:31	何かマルついてるのが 156 番なんですよ。
1:22:35	事象に対して、だけど、これ、
1:22:39	156 人いて、なお書きのアクセスルートへの成長がないって書いてあるところで受けるものなんですかねっていう、何かわからなかったんですが、
1:22:53	これは、その事象としてヒライない者たちがここでクローズというか、それぐらいの、
1:22:59	話をするのかなと思ったらそうでも、
1:23:02	ないんですけどこの辺の整理ってどうなってますか。
1:23:05	はい。宮城の石田でございますこの間も悩みのところも一つで、説明したような気がします 153 番から 150 まできて 156 の位置付けですねどっちかっていうと 153 から 155 を説明する前提みたいな。
1:23:22	話をしているので、このまま普通にやると逆になっちゃうんですけど、そうはしたくないということで、ただこれ 0 になるんじゃない。
1:23:32	影響がないってそうです。
1:23:34	年齢ぜ、上の上の 154 と 155 でやりたいことを全部 156 人預けたっていう書き方が今のやり方、これはもうだから 153 から 55 でも話クリアして、ここで特別に何かこういうことはありませんって、

1:23:50	何も招いてないんですけど、そこはお前終わってますって書いてババニシナinマエダで終わってますんで、やっぱそれ一つ、何も語ってないじゃんって経緯とか揺れるかな。
1:24:03	あれ、必置要求なってるから面倒くさいことよ。
1:24:06	定義とかに変えてはいない。
1:24:13	すみませんいろいろ自分でつけた要求種別に自分で振り回されてる方がありますが、はい。
1:24:19	ちょっとやりたいことは 153 から 155 で舞台の設計の展開っていうのは、当たっているつもりでなおかつ言ってるのはあくまで上の前提条件にこういったものが含まれませんよねだから影響がないかなと。
1:24:33	いうことを言っているんで、これ特別何か当たるものはないだろうということをお前に整理をしていきたいと思います。はい。
1:24:40	はい。規制庁の藤原ですよろしくお願いします。
1:24:43	で、今回の紐づけとかで全部見切れているわけではないので全般的に見なおしてあとその今の関係性とかも含めて、多分要求種別、
1:24:53	にとらわれずに、全体的に整理をしていただけたらと思うのでよろしくお願いします。
1:24:59	では
1:25:01	ピクリグループとか、
1:25:02	スミダコウノ。
1:25:04	整理の資料でいきたいと思います。
1:25:10	と、
1:25:12	最初の添付 1 はこれは、
1:25:15	進め方ヒアリングとかでも、整理されてるところをもう少し綺麗化したものが、今回付けられてる。
1:25:23	ということですかね。多分、
1:25:25	少なかった矢印とかを入られたのかなと認識してたんですけど、それで大丈夫ですか。
1:25:31	はい、日本ヨシダでございます。はい。おっしゃっていただいた通りです前回、右側のDBとの紐づけのところが伸びてなかった線関係するっていうところも含めて、整理をしました。はい。
1:25:44	育成
1:25:48	の後にSA野瀬
1:25:51	けど、これは先ほどの資料の整理したりとかっていうのを踏まえて、直すところは直してくださいねと、あとこの後の議論を踏まえて、この辺は適宜、

1:26:02	修正をかけていただきたいと思っています。基本的には今まで衛藤整理する手順なり、どういうふうな形で整理していくかみたいなのを聞いていますので、
1:26:12	そのあとの添付 2 ぐらいからのところが実際のものがついてきているのかなというイメージと、一部決算の位置なんかを、
1:26:23	これからの議論で、もう少し説明を、
1:26:26	追加されている状況かなと思っています。
1:26:30	で、
1:26:31	北海道これはさんの方は、何か作業されたというよりは前のあれですか、イメージの、
1:26:40	話ですかね。一部、はい。他のところは少し見直し版みたいなのところに記載が入ってる部分もあったかと思うんですけどこれは説明の一部ですか。
1:26:52	はい。2 ヤギニシダでございますこれサンプルとしてこういうふうにやっていますというイメージでつけてますこの後にも入っております。はい。オザワそのものの本体は後ろに入ってますのでまず
1:27:05	サンポ的にこういうふうに整理していくということを、火山を例示に示したというのが 10 ページ 11 ページの趣旨です。
1:27:13	はい。規制庁、藤原ですわかりました。
1:27:17	もしよければサンプルって、少し書いておいていただけると。
1:27:22	ありがたいです。結構同じ資料が挟まりつつ展開されていたりしているので、
1:27:29	今後、
1:27:30	こういうふうにしていただくと、本当に見るところはこれはサンプルねっていうのでわかるので、よろしく願います。13 ページのところは、今、先ほどの議論とかを踏まえて、この辺りも綺麗に、
1:27:43	これは少しこういうふうに展開していきますよっていう、
1:27:46	出たと思うので、
1:27:48	これも議論を踏まえてで、
1:27:49	必要であれば修正していただくというところかなと思ってます。
1:27:58	説明すべき項目の整理結果。
1:28:01	と、あと、それらを整理した。
1:28:04	グループ 1、
1:28:06	1、
1:28:08	その全部を
1:28:09	集結させた表、ここで、
1:28:13	次長側から確認をしていきたいと思えます。

1:28:18	もし1ページから始まるホンチャンの方ですね、竜巻のところ説明すべき項目とかがこちら辺から入ってるんですけども、
1:28:31	22ページの、これまでは、36条っていうところが説明すべき項目の現状版の方に入っていたのが、抜かれてるのってこれってどういう整理なんでしょうか。
1:28:54	はい、日本インダでございますすみません途中経過みたいになってしまって退化してみたいですけど
1:29:01	説明すべき項目の現状版の形に最終的になると思ってます。一旦Bで整理しているので、大体みたいになってますけど最終形は、
1:29:13	本村イトカワないかと思えますはい。
1:29:16	はい。規制庁の藤原です。あれですね角加古とかを整理する中での、今、一旦入れてしまってDBの分だけが入ってるっていう感じになってるんですかね。
1:29:26	今後の
1:29:28	説明すべき項目とかを整理されていくところがきちんと入っていくという認識をしました。
1:29:38	この辺りで、旧町側から何かあれば、
1:29:41	お願いします。
1:29:44	規制庁岡です。今のところなんですけど説明すべき項目の見直しばって、何が入ってくる話なんですか。
1:30:01	はい、米倉でございます基本あまり。
1:30:05	微々がオカモト。
1:30:09	ヒライにやっていたので、同じものがないわけなんですね何のためにやってる。
1:30:16	もう駄目だ。
1:30:18	やっぱここだけにかけて計画。
1:30:24	なんか、
1:30:26	ヒライの定義をしたことによって追加耐えたもの。
1:30:35	それから左側の整理をして、やはりもともとあったものが足りてましたということになりました。
1:30:42	そのわからなかったじゃないコサクです。そういうことではなくてですね、この作業は今後SAが入ってくるときの土俵整理、
1:30:55	何だけでやって、Dの方が足りなかったからチェックしろとかそういうことじゃない。
1:31:01	はずなんですよ。
1:31:02	とりあえず、受け皿としてワーまとめておこうとDBとしては思ってますっていうのでまとめているようなことが書いてますけど、

1:31:13	SAが入ったときに、ここに追記だけでいいのか、もう少し分岐して分けて書いた方がいいのかと。
1:31:22	いうことの話が必要になってくるんで、受け皿整備しときましたっていうことなんじゃないんですか。
1:31:32	はい。日本原燃志田でございますそこがですね私がちゃんと趣旨を書かなきゃいけないわけですね。一つの 21 ページの左側ですね。ここに最終的には
1:31:44	SAの話が混乱したものがボックスで入ってきて、このクラブ、同じように説明できるものと、赤字で何らか、設計項目を足すものと、
1:31:56	いう形ができ上がってくると思っております。その上で左を見て、1 番目に各説明すべき項目ってのが、隅括弧の追加なのかそれとも、これのさらに括弧書きを、
1:32:09	追加していくのかと、どういう形にするのがいいのかっていうのを考えていくと、ということかと思えますはい。
1:32:18	はい、規制庁笠野まず趣旨を今、漏れてるっておっしゃってましたが、書いていただいてその上でなんですが、23 ページ目の、
1:32:29	18 番の、
1:32:31	ここの関係をちょっと教えていただきたくて竜巻防護対策するときの設計が説明すべき項目の現状が、
1:32:38	たまにも入ってて、
1:32:40	エミのシバには入っていないように感じて、見えるんですがここの関係ってどういう考えでこうなったんですか。
1:32:52	はい。与儀修でございますこの 18 番ですねこれの屋内聞いた外観のところでは一番最後に
1:33:05	竜巻防護対策設備D、機能、要は、機能喪失しないように設計をする場合はその設備の設計を 31 番に降りますと、いうことにしてますのでね。
1:33:16	これを 31 番目で受けという形にしていると認識をして今、31 番竜巻防護対策設備の設計、こちら側にジョイントしたということで整理した形になります。
1:33:29	はい。清町楠田から屋内機器配管の中に書いてあるような内容の、
1:33:35	説明すべき項目として 1 回抽出した上で、
1:33:39	くるものがない、するものがあつたから、
1:33:43	見直し場の方ではそこをなくしましたっていう、そういう流れで、ここの表は整理されているという理解でよろしいですか。
1:33:53	はい。与儀ニシダでございますそういう意味でいくと、

1:33:58	駄目ですよ、これだ。駄目ですねっていうのは、18は配置設計の説明がポツが二つ分かれてて、二つ目のポツが、竜巻防護対策設備を設置することで防護すると言っているので、
1:34:13	ここで対策設備の配置の話が出てくるといって、竜巻防護対策設備の設計の一部これかかっていることになるので、
1:34:22	そう考えると、
1:34:25	元のものにしないと。
1:34:27	話おかしいね。
1:34:29	だから、設置するってことをここで言って、具体のその構造の設計は31枚売りますと。
1:34:36	だから18番と31番両方にたちまちも対策設備設計が出てくるって。
1:34:41	いうことにしないと。
1:34:43	おかしくないですか。
1:34:45	猪狩。はい。はい。というように直します。はい。はい、規制庁、わかりました。
1:34:52	17番なんかも、比木役者というふうに現状形変えていたのを、外と繋がっている屋内機器というふうに表現を変えているんですが、こういうところも
1:35:04	どんな、何でこういうふうに変えたの。
1:35:07	わかってなく説明あります。
1:35:09	か。
1:35:11	はい、与儀西尾でございます。はい。
1:35:16	パートを合わせた
1:35:22	ちょっと待ってくださいねすみません。
1:35:26	へえ。
1:35:29	一応、
1:35:31	そうした理由の主張をまず出していただいて、22ページで言うと、構造強度設計といったところに括弧書きがついてますけどこれ対象物に応じて、括弧書きを書き分けて、全体網羅的に抜き出されているということを示そうと思ってやったことです。
1:35:50	おそらくこの、
1:35:56	気圧差だけだと同じにならないから会議と繋がってるオク内規にしたと。
1:36:02	やったのがわかりやすい。
1:36:07	趣旨は、説明を
1:36:11	建物構築物だったり、機器や機器だったりっていう名称を合わせに行ったら、ということだと、いうことでございますはい。はい、規制庁笠野この作業をやっているとそういうふうに表現。

1:36:22	のその仕方みたいなのが、そろって狂うのかなと思ってて、わかりやすくなると。
1:36:29	いうところも、
1:36:30	十分あったんだろうと思うんですが、何かやっぱりちょっとブルー
1:36:35	なんちゃら設計括弧、後にその設計項目を書いていたたり、説明を書いていたたり、
1:36:42	あと防護対策って書いてあるのと防護設計って書いてある
1:36:46	んで、どっちも何かあんまり変わらないようなことが書いてあったり、あと文で何々による設計って書いてあったり、
1:36:54	駒田コウぶれがあるなと思ったんですがこの辺で何か書き分けの考え方とか、
1:36:59	あった上での、その書き分けてるのか。
1:37:03	その辺いかがですか。
1:37:11	はい、新美西尾。以上でございます。まだちょっと人の色が出ているだけな気もするのではい全体見渡して、日本語統一を図ります。はい。
1:37:20	やりたいことは趣旨が伝わればというところだと思うので、書き方の統一を図りたいと思いますはい。隅角のところに書く文言。
1:37:31	あと括弧内で書く場合の文言の書き方というところを整理していきたいと思います。おっしゃっていただいたように期待してる機能の話を何となく書いてるか人を、
1:37:43	対象物を特定しようと思って書いてるか河内といろんなライブがいるので、
1:37:48	そこの関係性を整理できればと思いますはい。
1:37:54	説明する上で、設計のタイプによって書き分けをするという方法もあると思うのでその統一的な考え方を整理したいと思います。
1:38:04	はい、規制庁、そのどこに紐づいているか、これの最終目標なので、あんまりぎりぎりやる必要はないと思ってますし、
1:38:15	前、先週の進め方ヒラタもおっしゃっていただいた通り
1:38:19	説明分類がすごい分解されてしまうとかそういう懸念もあると思うので最後にまとめられて今回はちゃんと出てきたんですが、表現ぶりをこうそろえるってだけでもこっちの宮沢全然こっちというか、
1:38:33	確認
1:38:36	これをどんどんこうしていただけたらなと。
1:38:48	この資料続けて、
1:38:51	と。
1:38:52	外部火災に入る前に、火山、
1:38:55	どなたか何かありますか。

1:39:02	社長わかります。じゃちょっと外部火災側で少し聞きたいことがありまして 35 ページ目の、
1:39:09	何か 35 なんですけど、ここてえっと、
1:39:15	危険物の施設等の若干減とかをこう排除するっていう構造設計があつてで、現状版で書いてなくて、見直し版で、
1:39:26	追加されましたってこういうのが後も結構あるんですが、こういうのっていうのは、
1:39:31	今の設備リストには書いてなかったけど、こういうふうに見ていったら、
1:39:37	出てきましたってそういうことなんですか。
1:39:42	はい。弓削ニシダでございますそうですね特に外部火災、他もそうですが、ギブンの状態の情報それを前提にいろんな他の設計が防護対象に対する設計が展開されているもの。
1:39:58	ていのがありますのでそういったものを抜けなく、設計として説明しようというのが、この左側でやってたものだと思ってます。それとの関係で、説明すべき項目としてエントリーする必要があるんじゃないかということで今回追加をしたと。
1:40:14	いうことです。他にも議運の情報として、もともと当庫の説明項目をどうしようかという整理が十分できてないときは、自分情報多賀谷相手にしてなかったところが多いので、
1:40:28	そういうところは設計の他のを、
1:40:32	インプットとして必要なものとしてしっかり認識をして隅括弧で上げていくということかと思ってました。はい。社長わかりました。そういうものは、この見直し版の方にどんどん追加されていっているような形になってるということです。
1:40:48	はい。そうをしていきたいと思ってます。はい、規制庁カセわかりました。あと、41 ページ目のようなところもメッシュ化みたいな話。
1:40:58	なんですが 56 と 57、下から二つ、ここ同じようにばい煙の挿入、信用防止設計を書いているんですが、
1:41:08	非常用、DGの方は、フィルターまたワイヤーネット全せの設置含むってなつてて、安全枠の方は、
1:41:20	フィルタ設置ってなつてて、このぐらいのメッシュ感だと、同じ統一してもフィルター等の
1:41:27	設置とかしてもいいような計算ですけど、結構具体的にこう、
1:41:32	分けていかなきゃいけない部分のポイントみたいなものってあるんですか。

1:41:38	4 イシハラでございますはい。特にはないと思います。フィルター等の設置でも全然両方ともついそうな気がしますし、最終的には説明グループの整理するときは全部合体されてるような気もするんですけど。
1:41:54	あとは業務設計方針を抜けてるからといってそれぞれ隅括弧、別々に出さなきゃいけないってこともないですし、そういった共通な方針だということ認識して資料 23 のところに展開していくっていうことも、
1:42:07	考えると、あまりここで仕分けをする必要もないかなと思いますはい。はい、規制庁カセ紫波系ぐあいがこうちゃんとわかればいいってだけでこんな報、
1:42:18	細かく分ける必要はないところだと思いますので、
1:42:21	ちょっとその辺は
1:42:24	他の条文も含め、確認いただければと思います。
1:42:29	ちょっとそういう観点では少しいろいろあるんですね。
1:42:38	使える火災、以上です。
1:42:43	H2 火山、
1:42:45	も、
1:42:46	先ほど言ったような
1:42:49	集配人に対してやってるものに対して、
1:42:53	こういろんなこうつくれば、
1:42:56	あたりですね、ちょっと具体的に言いますと、40、
1:43:00	違う、45 ページ目の、
1:43:03	それから、火山 13 なんかの、
1:43:06	とせ見直し場の方で出てきた冷却塔の冷却空気吹き上げ等っていうふうに、
1:43:17	現状がわからん。
1:43:18	変えてるんですが、
1:43:20	この何でこんなに変えなきゃいけないのかっていうところとか、
1:43:24	わかんなかったんですが、何か理由ってある。
1:43:37	はい、乳井西浦でございます。はい。おっしゃってた 45 ページでもともと降下火砕物の侵入防止設計括弧冷却塔って書いたものに加工機をわざわざ、
1:43:48	冷却空気の副揚げ等としたと言うことが、意味が、
1:43:55	あるのか否ということですかね。はい。
1:44:00	ちょっと、
1:44:04	考えます。ここでもって、吹き上げ高さ規制庁 49 ページ目の数 35 も同じ表現に、
1:44:13	してて、こっちは吹き上げ等っていうふうに従来を整理していたものを、

1:44:17	定着等も定着っていうキタニとコウ、
1:44:20	書いていて、だから従来括弧内 2 設備が入ってたと。
1:44:25	手段が入ってたものが、と同じように表現したくてかつ、それを全部変えたという、そういうこと。
1:44:32	何だろう。はい。基本設計方針が変わっているわけでもないし、やろうとしてることが変わってるわけじゃないので、縄田岩瀬様に、整理をしていけば、中で、
1:44:44	この説明隅括弧なんだっけてことにならないようにしていければと思います。そういう意味でいくと、
1:44:52	冷却塔の吊り上げ高さ等、吹き上げ等と言っていることで、ここで言う方、設計項目の説明ですかね、等
1:45:03	同じようになると、何と何が表したいかがわかるようになるという意味では、今の修正案の方で、
1:45:11	いければと思いますけど他との横並びでどう書くかっていうところは整理をした上で今一度チェックをします。はい。はい。さっきのその括弧内店使ってるものと、
1:45:22	機能というか、目的、手段みたいな書いているのとか、いろいろなパターンがあって、そういうところを少し整理しながら検討していくと、綺麗に、はい。見えてくると思いますので、またよろしく。
1:45:36	シマはい。
1:45:37	宮城西田でございます。はい、ありがとうございます。現状考えているのも、全く統一性がないとは思ってなくてですね、荷重として受けるところの設計をする時には、機能ってあんま関係なくて対象物が何かと。
1:45:53	いうことを言ってあげればいいのかなど。ただある種機能を期待してるものっていうのは括弧書きで何らか何を期待してその設計を展開しようとしてるかっていうのがわかるようにしてあげた方が、
1:46:05	何を言いたいかわかるかなというところで、素行、設備も含めて書いてあげる対象物もわかるし、何を期待してるかも、設計の要求としてもわかるかなというところで、
1:46:16	今書いていると思ってますので、そういった考え方を書いた整理した上で、それに合うような答えになっていけるようにしていければと思います。はい。
1:46:27	はい。議長よろしく申し上げます。
1:46:29	あと、そういう観点もいいんですけど 54 ページ目の外交、
1:46:35	航空機の話、ここは、
1:46:37	個別補足説明資料提示が、設定すべき項目になっていて、
1:46:44	二つともう、

1:46:45	これって、何でここだけ個別補足説明資料提示が説明すべき項目になってるんですか。
1:46:55	はい。乾西原でございます。これも間違った、すいません前のやりとりでちょっとこれだけ得特殊性を持って書いていたところをちょっと全体含めて直すべきところ、
1:47:07	外し忘れました。はい。
1:47:12	そうですね。航空機のところあまり中身の設計というよりは、確率評価のところの、規制庁さん出された見直しのやつを反映して個別補足で出すってところがメインになってたので、そこも明示して、
1:47:28	いかないとねっていうのが一番スタートで書いてましたけど今となつては、駅もするので他に合わせます。はい。はい、規制庁からちょっと浮いてる感じがしましたので、はい。そこは他に合わせて、
1:47:39	いただいた方がいい。
1:47:42	あと3
1:47:56	回規制庁側からありますでしょ。
1:48:02	特にないようでしたら、
1:48:04	レッシング 36 条、
1:48:07	こちらで別紙の 36 条は先ほどのところで、是正の要求事項の整理のところでも、
1:48:15	そのあとにやろうとしている隅括弧の整理とかの話までさせていただいているので、
1:48:21	特に規制庁側から、プラスで言いたいことがなければ、次の
1:48:27	部分に移りたいと思います。
1:48:31	新野が衛藤。
1:48:35	99 ページの別紙 3 ですかね。
1:48:37	説明すべき項目の整理結果は地上 36 条以外、
1:48:43	この辺りは一つ一つが小さいので
1:48:46	ブレットもなく、もう、
1:48:49	確認されたい方はどんどん発言していただいたらと思います。
1:49:03	はい。規制庁岡です。ちょっと事実確認というか整理の、
1:49:09	事実確認なんです、
1:49:11	4 ページ目辺りから、
1:49:13	SA関係が、
1:49:16	できて、外的ハザードの工業、外的ハザードの工業で、
1:49:22	下げる使えません。
1:49:31	で、これがそれぞれ、
1:49:33	1 グループ

1:49:38	ここの考え方。
1:49:40	もう少し教えて。
1:49:42	まずでしょ。
1:49:45	はい。二本木ニシダでございます先ほどのSAの整理の中で、例えば113ページで言っている多様性知的分散と久米さんの機能設計に入っている部分との関係性っていうのをもう少し整理をしないと、
1:50:00	この形にならないのでその整理と並行して進められればと思いますけども、
1:50:05	もともとやった整理としては基本設計方針に書いてある内容をもとに、対応性知的分散環境条件等に関する設計は、基本的に、外的ハザード内的ハザードに対する考慮としての設計方針を語っている部分だと。
1:50:22	ということで、ここって、ここと、※3で言っている、設備の機能設計との切り分けをしようということで整理をしました。
1:50:32	基本、基本設計方針の構成はどこの受け取っても大体同じで、
1:50:40	まず、その設備の系統構成だったり、機能だったりを変えて、そのあとに多様性位置的分散環境条件だったり悪影響防止だったり、
1:50:50	個数容量だったり、ということを展開しているのが基本設計方針です。その項目の多様性定期的分散環境条件等に対する設計というパーツの部分は、
1:51:03	※1※2と書いてある通りグループ1グループに、それぞれハードの設計という意味でDBとコラボして説明をしていく。
1:51:14	範囲だろうということで整理をしました。
1:51:17	そのあとに、1書いてあるのはどちらかというと、頭に書いている機能系統構成の話、プラス、
1:51:25	個数容量であったり、接続複製等を、試験検査ですかね、そういったものが、SAの機能要求との関係が強いと。
1:51:39	ということで、機能との関係で説明した方がいいだろうということで※3グループさんの方に展開をするということで整理をさせていただいています。
1:51:48	基本んやってることはみんなどの条文も同じです。はい。はい、わかりました。そういう整理をされて、
1:51:58	ことで、だから、
1:51:59	何を説明するかっていう明確化は、内々に、
1:52:05	やっていて外的ハザードに対してはこれ、
1:52:09	らなきゃサトウに入った人はこれらっていう
1:52:12	申請対象設備との紐づけみたいなものは別途あるっていう、まずはそういうユリとイデよろしいですか。

1:52:24	はい。与儀ニシダでございますそうですね基本設計方針と、対象設備の紐づけへっていうのを、
1:52:32	言って1か。
1:52:34	教授の別添1でやってますけどもそういったところで、コラボしたのが見えてくるということかと思ってました。はい、わかりました。とりあえず今の説明ではい。そういうふうに進めるんだなということは理解します。
1:52:48	で、これがSA設備に関しては、全条文、
1:52:53	ところ機器系も全部条文なされているっていう。
1:52:57	ことですね。
1:52:59	はい、日本インダでございますはい。一通りやらせていただきました。作業としては、
1:53:06	変な意味ですけど1人でやってますので、横並びがとれてると思ってます。
1:53:11	ただこんなことを私が言っちゃいかんですけど、Dの上部、Bの条文がですね、
1:53:23	なかなか基本設計方針として、これでいいんだろうかという悩みは幾つかあって、今例えば121ページなんかは、
1:53:32	これ何を追加したんだっけな、約20じゃないの一番辛かったのは、123ページか。
1:53:42	管理なんかは今無理やり5-1-4-9に紐付けて固化セル圧力放出系のところを、をつけてます。
1:53:52	これ過去から基本設計方針、許可も変えてなくてそれをそのまま展開するとですね、5.1.4の一番大枠5.4-1に入る前に、
1:54:06	全体の機能の話が書いてあって、5.4、1.4-1、4.1かな、ここから先が全部、
1:54:14	個々の設備ごとの系統構成しか書いてなくてですね、それぞれの特有の機能って全く今現状の基本設計をし、書いてないので、
1:54:22	どこに一体これを結びつけて展開しようかっていうのがかなり悩むところかなと思ってました。はい。そういったDD単独でかつ挙力一も含めて、過去から何もいじってないところが、
1:54:35	結構整理が難しいなというところでした。はい。他の新規でつけているところが逆に、
1:54:43	許可の時にある程度ていうか、議論をして、構成も含めて整理しているので、素直に整理ができるパターンかと思ってます。はい。
1:54:54	はい規制庁わかりました換気は。
1:54:59	今回記載の適正化という範疇で、基本設計方針を少々変えてもいい。
1:55:04	です。はい。

1:55:06	少々じゃすまないんだっけ。
1:55:10	北井の適正化の範囲だと思ってます。はい。とはいえ、はい。何と何ともならんかなと思ひながら。はい。何か考えますはい。はい。
1:55:40	なるような
1:55:48	はい、日本のインダでございます。今、何を押し付けたものは、どう説明するかちょっと説明方針を考えなきゃいけないなと思ってます現状すいません。
1:55:58	お示しできるものはないです。今回、何降ったものがどんなものがあってそれをどういうふうに、その前のグループとの関係性を、前提条件するものがどんなものがあってということも含めて、造成する、説明するかの整理を、
1:56:13	しますはい。後程お示しできればと思ってます。はい。はい。社長からまだ全然先の話ではあるものの、じきに
1:56:23	7が近づいてきたときに全部残ったものだけがあって全部バッチでこう説明するような感じになるのも何か、せつかく共通12という体系を作っているんで、何かしらちょっと
1:56:52	ツツミ括弧Dとその外的ハザードのAPハザードっていうのは、先ほど話に出たんですけど、そのあとのすみかこの三つの分け方が、とり方というか、
1:57:03	流出の考え方がよくわからなくて何で臨界検知だけ出てるんだろうとか。
1:57:09	一つ目は、SA時のパラメーターの把握で常設の方だけ常設重要計器。
1:57:16	頭等なので、どこまで含んでるのがよくわからなかったんですけど。
1:57:21	この辺りってどう整理されました。
1:57:36	あ、
1:57:40	あんたがやったんだよってみんなに見られる。
1:57:44	こうやってやったっけなっていうところがちょっといまいち記憶が飛んでますねはい。分ける必要があまりない気がしてきました今となっております。
1:57:53	今もともとパラメーターの情報把握に必要なものっていう、
1:58:01	話の、設備の設計と、
1:58:04	それに付随するクレーム権者等というサブ的な関連設備で挙げているもの。
1:58:13	を、まず分けなきゃなということで、分けたのがまずスタートです。
1:58:18	臨界を別にしたのはなぜか。
1:58:24	それでも0臨界もともとここに入れてない。
1:58:29	よ。
1:58:32	何だっけ後で委員会で出したんじゃない。

1:58:39	最悪な上司がいた。
1:58:44	これ委員会かける必要ないじゃん。だからそもそもリンクの中に入っていないコサクですけど、勝手な類推ですけどこの委員会の書き方からすると先ほどの、
1:58:54	資料の方で話し合ったように個別条文、
1:58:58	2、
1:58:59	個別条文要求を 36 条の要求も足してと。
1:59:03	言っている隅括弧になってて、
1:59:06	確かにここじゃねえだろうっていう感じがあってもものはここに入るのかもしれないなど。
1:59:12	いう。
1:59:13	ことなんですけど、そのあたりをどういうふうに整理をするつもりかってことですかね。
1:59:19	無理した。
1:59:21	だからこれ、131 ページで 4.2. 2 のところに出てくる委員会研修の放射線検出器って基本的方針だと、計装に飛ばしてんだよ。うん。そう。
1:59:33	計装飛ばしたやつがこっちに出てきて、
1:59:36	登場するとき、条文町だからといってツツミ括弧分けるか、前の方の情報把握なり何なりを見るでしょって言って、わざわざ分けて書くかって話なきやな、その整理をしないとイケない。
1:59:48	はい。すいません記憶がよみがえってきましたはい。
1:59:52	そこちょっと全体の考え方を整理しては、どう書くかを決めていければと思います。要求事項として隅括弧を分けることによって、何らかの上のものと別の説明をしないとイケない場合は、鷺見加古アベも出ますし、
2:00:08	上で言ってることと、機能設計も含めた説明範囲が同じであれば、合わせてやっていけば住処小字げる必要もないなという気もしてます。ただ
2:00:19	臨界上部からこっちに飛んできてますっていうところはこの中でもわかるようにした上で、それをどう扱ったかが最終的な姿にもつなげるようにしていきたいと思います。以上です。
2:00:31	はい。規制庁の内村です。
2:00:33	整理をよろしく願います。あと、
2:00:36	少し話に出てきましたけど、情報パーク計装設備系統ってどう整理されるんですかね。
2:00:44	携帯とかは入って、
2:00:46	ます。
2:00:48	か。

2:00:51	計装の方でも持ってる分ってないんでしたっけ。
2:00:56	とかとか、そういうのってどうする。
2:00:58	されてますか。
2:01:02	はい。与儀ニシダでございます。1社っていうのは先ほどの、
2:01:08	113ページに行ってパラメータを計測する設備等、あと、
2:01:14	この後に出てくる通信。
2:01:19	こういった中心が、
2:01:23	30度だっけ。
2:01:26	急増。
2:01:33	通信連絡理由、
2:01:38	129とか大体通信とかの計測監視を行ったパラメーターの伝送の話。
2:01:45	どこなんだよね。
2:01:48	この辺のリンケージ。ちょっとこれもうちょっと、先ほどの委員会等の係争の飛ばしじゃないですけど、業務設計方針上
2:01:58	この部分は、どれぐらいの条文に飛ばしますみたいなことを書いてるところもあるので、そこもケアして、リンケージがわかるようにしていきたいと思いますはい。
2:02:07	はい。規制庁の萩原です。
2:02:09	よろしくお願ひします情報が計装設備とかは、品胎にも一部あったりとかオク場所でやったら制御室とかにも置いてたり、置く場所もあったりとかで、
2:02:20	結構どういうふう整理してたかっていうのを確認した上で整理していただけたらと思います。
2:02:30	あと衛藤。
2:02:32	他の、ざっとした整理という、後ろの方でもまとめられてる165ページとかの方、
2:02:38	を見た方がわかりやすいかなと思って見てるんですが、36条のところ
2:02:45	もう外的内的っていう言葉を使われてるんですけど、これって、
2:02:51	この
2:02:52	今、DPとの整理をしている中で、外的内的って、
2:02:57	外的ハザードを言うときもあれば、外的事象によって起こる事故、両方ともとらえられるのでこれってどっちの言葉として使ってますか。
2:03:14	はい、井手志田でございます。外的はガード内的ハザードのことを考えて、
2:03:21	言っている。

2:03:23	気もするので、そういったことがわかるように、どの図解を整理していくと、ということかと思えます。はい。
2:03:32	はい。
2:03:33	建築部、千葉です。
2:03:36	わかりましたそうですね。
2:03:38	どちらをミス。
2:03:40	するかによって結構内的の方なんかはかなりずれてきちゃう話になるので、きちんと整理をしていただけたらと思います。
2:03:48	ちなみに、そっか。
2:03:51	その 165 ページの可搬型SA設備の固定固縛括弧内的ってこれは何もありませんか。
2:04:11	どっちの内的を考えてもあまりぴんときてないんですけど。
2:04:17	例外的だよ。
2:04:18	オクムラ。はい。
2:04:20	もう、は、対外的内的はどうも間違いのようで、屋外屋内は言いたかったみたいです。
2:04:27	どうもわけわからなくても、
2:04:30	もう、そうすと両方とも外的ハザード。
2:04:34	そうすと屋外屋内ってあんま分けずに外的ハザードの話と一緒にじゃない。
2:04:38	何か接近説明分類が二つ固まるだけに、
2:04:42	そうすとサグループしてグループに分かれるのおかしくない。
2:04:47	いや、もうグループで、
2:04:51	地震も含めてやろう。
2:04:54	ツボクラない、会議に求めて、
2:04:57	一斉の説明の時に固縛の話をして屋内の地震の話を、
2:05:04	今、耐震は、
2:05:06	外的ハザードと言いながら、グループ 1 と 2 で分かれている。
2:05:13	ITはまた物議を醸したようなこと、QMSに今、何か危険な気がしたのは、
2:05:22	コサクですけど、整理します。はい。はい。私はそう思っていましたよ。
2:05:28	あの上。よかったですが外的ハザードすべてって言っちゃうと、屋内機器もすべて入っちゃって、そうすると何でもかんでもグループ 1 かっていうと、グループ分けしてる意味がないじゃないですか。
2:05:40	なのでグループ 1 は屋外機器。
2:05:45	グループには屋内機器という大枠になるように、でも、視点としては、ハザードをメインに抑えましょうで、

2:05:56	先ほど話のあった外気接続のある話とかっていうのは、グループ 1 の方で一旦話をしておいて、
2:06:04	一旦しておいてといったときのぶら下がりとして、
2:06:10	建屋内の耐震まで含むのか含めないのかっていうのは、
2:06:14	要件等かなあという感じではありますけど、耐震設計の場合は、建屋の応答を見て、床音スペクトル出さないといけないので、
2:06:25	建屋内は一式そっちでまとめてやりますっていうのでグループにすると。
2:06:29	というのは別に構わないかなと。
2:06:32	思っていましたので、
2:06:34	そういう関係性をちゃんと明確にしていればいいと思います。
2:06:42	はい。承知いたしました。
2:06:46	古作です。ただ、ここの外的内的是ありません。
2:06:50	で、ちゃんと趣旨が伝わるように書いてください。はい。
2:06:57	この表、作りというかあれなんですけど説明グループ、真ん中、左から 3 行目のところは、
2:07:08	手前の説明グループ 1 と下の表の中で記載する際にこういうふうな形で示していきますよってということなんですかね。
2:07:18	はい。趣旨が全く伝わらない表題で恐縮でございます。そうですね先ほどご説明した通り説明グループ 1 とかの、
2:07:29	表を示す時に、ある種、累計をして、グルーピングをして、こういう名称で変えていきますと。
2:07:36	なので説明グループ一井とかでこういう名称で書いてあるものには関連するものを全部含んで、こういう名称にしますよってことを整理したかったと、いうことでございます。はい。
2:07:45	はい、規制庁の元、
2:07:50	あと念のための確認なんですけど津波のところの隅括弧って二つ。
2:07:58	グループ 1 で 149 ページのところは二つ書かれていて、実際エッセイ可搬な井清の据えつけ場所っていうのは 36 条の方で展開しますとあって、グループ 3。
2:08:12	でやりますって書いてあるのは、あれですかね、この井清の要求事項の整理とかの中でも、他との関係性。
2:08:20	水供給とかでの出番だったりとか、そういったことも踏まえて整理していくっていう意味でその一つだけは、グループさんとかでやるっていうような考え方なんですか。
2:08:34	はい。乳井ニシダでございますはい。おっしゃっていただいていると保管場所自体はやってることは変わりませんので利用しても、

2:08:45	その中でやるということで考えてますまた最初の据付場所は基本、説明グループ1の中で展開する。
2:08:55	それとも保管、対人グループさん。
2:09:04	17
2:09:09	方、
2:09:10	ピンポーン、
2:09:20	でもあれか、さっきの説明をすとか、津波に飛ばすときには、
2:09:25	セガワ、
2:09:29	別名グループで説明すべきではミイとか、そう。
2:09:33	全体含めて、はい。
2:09:37	だから次回の審査会合前に間に合っていないと駄目だよっていう話。
2:09:41	OK。
2:09:46	夫って言われているでしょ。
2:09:50	ね。
2:09:52	はい。
2:09:55	はい。
2:09:58	はい。そういうことで説明グループ全体を説明するべきを、この整理も含めて先ほどのセガワの整備ということ、②、
2:10:08	1から③までの整理も含めて、
2:10:11	やっていければと思いましたがはい。
2:10:14	はい。規制庁の平ですよろしくお願いします。
2:10:19	この資料でさしからは以上ですが、ほかに規制庁側から何かあればお願いします。
2:10:27	現在、
2:10:29	規制庁かです。この共通中に別添1が、審査し、
2:10:35	介護資料にも、このイメージでつきます、つく感じですか。
2:10:41	はい。井手ニシダでございます。はい。このイメージで若干悩んでるのは
2:10:49	前回、説明グループの設定の話をして145ページから、
2:10:56	147ページまでがついて、あとは審査会合資料の別添として、共通12をつけて、そちら側に預けている感じになってました。
2:11:07	あとは今回その考え方の整理をした背景等あと結果として、この145ページからのところで、変えたところですね、明示的にするのかを、
2:11:23	説明グループ内の表は少なくともないとさっきの累計した消防で使うともう何やってるかよくわかんないのでグループ1の表ぐらいまでをつけるかだというふうには思っていました。

2:11:34	はい。それから、その観点でやっぱり前か飯野 10 月なんですけど、会合の指摘事項の回答とかですね、そういうところも少しケアした方がいいかなと思った次第で。
2:11:47	共通中に書いて悪いわけじゃないので、そういうところをちゃんと提案してくださいっていう。
2:11:53	ところでしたらいかがでしょう。
2:11:55	10 名でございます。提出してオカヒアリングさせていただく先進サカタこちらですね、この説明グループの設定の冒頭、10 月の審査会合で受けたアイティフォーなりで、
2:12:11	規定はどういうことをやって、ここまで持ってきたのかという、作業としても、やっていったこと。
2:12:19	一つ目、145 ページ以降の日の文書がつくわけですが 145 ページ以降で変えたところはどういうところが変わったのか。
2:12:27	うん。そこの趣旨のちゃんと書けばいいんですよ。これがちょっと悩んでたと思うんですけど。はい。そんな構成でできればと思いました。はい。社長笠野アノ 1。
2:12:40	やっぱり 145 ページ目からこれ、結構いろいろ、
2:12:44	従来からかつ綴って書き加えてきていてかなりコウフクダ。
2:12:48	ミイ。
2:12:49	なってきたんですが、少しグルーピングして書いたり何か、わかりやすくできませんかね。
2:12:57	例えば、
2:12:59	グループ 1 はこれこれね。
2:13:01	で、その中で建物構築物についての配慮事項はこういうことあります。
2:13:07	とか、少し、
2:13:09	ここの記載もグルーピングして、
2:13:14	はい、乾西田でございます。はい。そういう意味でやっぱりちょっと整理をさせていただきます。外部ハザード外的ハザードに対する設計と、
2:13:25	いうことの視点で、設計説明分類の関係でいくと建物構築物だったり屋外の機器配管だったりということに対してどういうことを説明しようとしているのか、SA設備とのウノDBのコラボという意味でどういうことを、
2:13:40	説明グループ 1 で説明しようとしているのか。
2:13:44	また加えて、あれですね、一番最後のlatent下にあるように、建物構築物を今回説明するという視点で、それに関連するものとして説明するのはどんなことがあるかと。

2:13:55	というようなグルーピングをして、それぞれ項目出しをして説明するような形で、趣旨が伝わるようにしていければと思います。はい。
2:14:06	はい。規制庁、梶です。よろしくお願いします。おそらくその紙幣大丈夫です。
2:14:11	確か。
2:14:17	規制庁の荒井です。
2:14:20	ちょっと資料戻ってしまって 105 ページ目ですかね。
2:14:26	河西のところの例で、
2:14:29	新たに青字で書いていただいた説明すべき項目、抽出の考え方っていうところって、
2:14:37	どのようなところからどのような考えで、この記載を持ってきたかっていうところをもう 1 回説明いただけますか。
2:14:46	基本設計を性をかみ砕いて要素を入れっていうのか、そういったものをそのまま張りつけているような形なのか。
2:14:54	はい。いう名称でございます。基本設計方針をもとに、要素的なもの、
2:15:01	となるように、抽出をして、
2:15:05	簡略化したりということをやってます。はい。この右側で言う説明すべき項目が出てくるように、どういったコラボな関係性があるかと。
2:15:16	いうところがわかるようにかつ、どういったポイントをこの中で説明するのかということが、網羅性がもうヤブキわかるようにしたつもりでございます。はい。
2:15:26	はい。規制庁のアライですわかりました。そういう意味だと、うん。許可の中では、例えば消火設備って要求事項の中で、消火したとしても、任意施設の安全機能を損なわないようにしますっていう設計が、
2:15:42	確かあると思ってて、
2:15:44	それを付随させると、グループ 4 ではなくてグループ 2 に行くパターンもあるのかなとかって思ったんですけども、そこは基本設計方針自体に書いてなかったっていう理解でいいですかね。(3)の
2:15:56	消火設備のところ。
2:16:00	やっている。
2:16:03	あれですよ。いすイデ呉消火用水による没水とかの影響、そこと消火設備のコラボは、そうですねそこはうまく抜き出せてないかもしれない先ほど
2:16:19	どこにどう飛ばすかというところのリンケージもここも含めて整理をするということかと思しますので、もう少し整理を進めていければと思います。はい。はい。

2:16:30	はい。わかりましたそういう意味だと、火災以外でも、グループ 4 で火災クローズできればっていうところはあると思っています。そういう願望はあるとは思っているんです。
2:16:42	あるとは思いつつも、他のグループに飛ばすようなところがないかっていうのはやっぱり基本設計方針、ちゃんと見てみないとわからないんじゃないのかっていうところがありますので、
2:16:52	ちょっとこの抽出の考え方っていうのはもう少し丁寧に見てやった方がいいのではないのかなと思います。
2:17:14	はい、日本イシハラでございますDB側の設計項目の整理も今進めてますのでそれとの関係も整理した上で、各飛ばしの関係性というのも、先ほどの、
2:17:24	たデータ情報、
2:17:27	把握関係の通信とか勤怠とかとの関係じゃないですけどそういったことも含めて整理をしていければと思います。
2:17:33	はい。規制庁荒ですよろしくお願ひします。もう一つあって 133 ページがいい例なのかなと思っていて、
2:17:42	前のヒアリングの際にも少し説明を、
2:17:47	コメントさしていただいたんですけども、
2:17:50	例えばアノ小ダテいで、
2:17:53	7.2. 2.3 っていうところで大体安全冷却水系って書いてあって、
2:17:59	それでこれが機能、機能設計については、その繰り返しになりますけど大体安全冷却水系の機能設計という形ですみつき括弧で抽出されていると。
2:18:10	いうところで、水系って書いてあるので、系統だって機能は発揮されるんだっていうところはわかるんですけど、その下の 5.1. 6 の代替換気設備ってなった時に、
2:18:24	この内容を見てみると、やっぱりセル導出とか、凝縮器とかあって、例えばこれが大体換気設備に入るのかどうかっていうところを、
2:18:36	義務をしてですねその設備に入らないようであれば墨つき括弧の表現っていうのは、
2:18:42	ごめんなさい。これなんぼ招くんではない、ごめんなさい。
2:18:47	入ります。
2:18:50	はい。ので、まず事実確認そういうところから整理をしてということですけど。
2:19:02	条件つきの話はあまり深く言いすぎないで、
2:19:05	まず、

2:19:06	どういう状況なのかを確認してから、その上で話をした方がいいかと思います。
2:19:14	はい。
2:19:25	はい。はい。そういう意味だと、推計とか設備っていうところに区切った際に、
2:19:31	どうなるのかっていうところを、ざっくばらんに聞いたかったっていうところが趣旨です。
2:19:37	乳井吉田でございます。設備構成であつたりの、どこに何を含めるか許可の段階で整理をされているものだと思っておりますので、それを含めた、こういう体系になっているということを前提に、
2:19:51	今の鷺見加古も書かせていただいています。
2:19:55	例えば、この中でいろんな経路が違うものを、その機能に応じて、この場で鷺見加古和気なきゃいけないということかという守っていけるものがある程度枠で、
2:20:07	抜けなく持っていければ、それほどここで分解する必要はないかなというふうに思っております。
2:20:15	了解です。とりあえず以上です。
2:20:19	古作です。凝縮キーワー
2:20:25	セル導出のラインについているものなので、系統としてここで説明するのは、
2:20:32	いいんですけど、
2:20:34	凝縮器に流す冷却水
2:20:38	についてはどっちに入るんですけど。
2:20:44	弓削ニシダでございますこの上の大体安全冷却水系に入ります。
2:20:50	古作です。ただ、あれですよ、こちらの代替換気の方の移行をなるべく抑えるっていう機能としてはこっち、代替換気の方の、
2:21:04	はい。
2:21:05	求めることであり、
2:21:07	どうひもづけるのかなっていうところなんですけど。
2:21:11	はい、日本イシダでございます。おっしゃっていただいた例えば 5.1. 6 のところの大体間キノシタから 123 四つめですかねここで言ってるように、蒸気を凝縮するため、代替安全冷却水系の可搬型を
2:21:25	それによって書いてるところは、この一連の機能を、多分ここで説明しないといけないのかなと。あとは大体安全冷却水系から来る、その流量みたいなものの内数にちゃんと入ってますよっていうのは、ここで必要な留意を行った上で、

2:21:40	7.2. 2.3 の団体大体安全冷却水系で全体の流量をウタば確保できてますとか、そういう説明につなげるのかなというふうにイメージしてました。
2:21:51	古作です。今言っていたかところからすると大体神吉側が、
2:22:00	冷却すの方がちゃんと自分のことを踏まえた対応に取ってるかっていうのをチェックに行くってことはできると思うんですけど、
2:22:09	冷却水側が大体関係側の機能にも、
2:22:13	配慮しますよっていうのを、
2:22:16	その上の枠のところから読み解けるかどうかっていう、
2:22:22	ウノはどう。
2:22:24	対応されているかという、
2:22:28	2 ポツ四つめのところ、
2:22:32	凝縮水の話でもこの蒸気を凝縮水として回収して、
2:22:41	その中に、その上と下から
2:22:45	五つ目、四つ目か。
2:22:48	五つ目だ。上から小部さんの上から、
2:22:53	二つね。うん。はい。
2:22:55	に、大体換気設備の製造室の業種的に水を供給するためここで系統の繋がりはわかるというふうに思ってますから、大体安全冷却水系が水を配らなきゃいけない先にちゃんと、
2:23:08	大体書きがあるんだということで、コラムできるかなと思ってました。はい。コサクです。たすき掛けでちゃんと双方書いていてってということで、ともに説明の漏れがなく、
2:23:21	確認をとり合うということですね。
2:23:26	はい。二本木ニシダでございますはい。そういうことで考えてました。
2:23:30	はい、わかりました。
2:23:39	山道です。
2:23:41	はい。新津核になってしまう。
2:23:45	161 ページ。
2:23:49	上部の設計すべき項目の一覧の溢水についてなんですけども、
2:23:56	赤字のSA、
2:23:58	そして、
2:24:01	二つ目のお金のところ。シェブロンボックス内の腐食性流体を内包する配管の先進は、
2:24:08	これが 1 水源及びスミダ野瀬での、
2:24:12	設計、
2:24:13	免責項目に対して、代表となる設計 1 名分類で、
2:24:18	クマガイ被害感

2:24:21	一緒になってるんですよ、これって何ですか。
2:24:39	日本イシハラでございます。何と言えればいいのか入りません。はい。
2:24:47	三つ挙げているが間違いです。失礼します。はい。
2:24:55	はい。
2:24:56	山野構造物は、
2:25:00	国内機器配管のいわゆる小野瀬せるっていうのが、要は建物構造物に入れてはいるので、
2:25:07	非常に行きました。
2:25:09	山部氏です。わかりました。
2:25:15	コサクですイマムラの質問で申し訳ないんですけど、
2:25:19	この今の話をした表とかでSAの説明すべき項目、
2:25:26	がいっぱい書かれてるんですけど、
2:25:29	これは驚見格好で書かれるような話。
2:25:33	だと思ふんアノ元になる話だと思ふんですけど、さっきの資料だと隅括弧までは書いてなくて、
2:25:42	その手前の作業になってて、
2:25:45	どっから湧いてきて、
2:25:48	どう作業したのかっていうのが全然わかんなくなっちゃったんですけど。
2:25:54	どっかに何か違う作業が入ってるんですかね。
2:26:00	はいちょっとだけお待ちください。
2:26:30	そういうことをやっちゃって、とりあえず作ってみました。
2:26:34	はい。弓削根井社でございます 72 ページ、82 ページか、先ほどの別紙 2 ですねこれ最終的にどこまでうまく説明できるかですけど、
2:26:45	92 ページ別紙 2 の 10、36 条の 109 呉の一番右が出てくるもの、これがなくなって、
2:26:56	今現状でいくと、コミュニティと書いてるものを、多くのフレーズを持ってきながらかつタイムリー水アビルの設定と、
2:27:07	いう決議しているところがどう思ってきたんだっていうと、下の人の 12 条ここに対してその上を見てここにくらいアップするかという意味で、この番号との関係でもこの番号を、あれですよ。
2:27:21	没水とかの防護設計とか飛んでるんだよ。
2:27:26	だからここは、そんな形が対応するとすると、27 番の話の前に、1000 円とSAの設定ところで、
2:27:36	飛ばしてれば、シミズさんのチームを受け取って、すでにSAという設定にこのコメディーターが得ながら、
2:27:45	どうやってたそうかなと。

2:27:48	センスがないけど、日本語が長すぎて、もうちょっと練習ハラによる、を踏まえの下、溢水量SN設定とかでもよかったのかもしれないけど、
2:28:00	という話でやってることは、
2:28:03	はい。9 スタートは、この別紙にですね、先ほどの劣勢がチームが作ってる。
2:28:11	SAのやつの添付 1 をコラボする形で、Dに飛ばし先との関係でこの黒字の隅括弧との関係でSAで赤字出すものがないかと。
2:28:23	いうことでコミュニティ米事例、追加要求があるものはそれぞれをどうコラボするかと考えて、
2:28:31	赤字の隅角を出していくと。
2:28:36	いうことなんですけど、先ほどどこに飛ばすかっていうこのリンケージの整理をちゃんとして、かつ、
2:28:43	食うと出して赤字になると機能会社とですね、もうちょっと統一的思想方を整理していきたいと思います。ナイトウ、やたらと長い文章の隅角ができて上がって何を言ってるかわけわからなくなるので、
2:28:56	全体的にはそういった形で整理が進められればと思ってます。
2:29:00	はい、古作ですわかりましたその意味だと、先ほどのSAの要求事項云々っていうのは前のヒアリングで宿題が残ったので提示はしているものの、
2:29:12	実務はもうその次のステップまで来ていて、ここの資料の 83 ページなり何なりと、
2:29:20	いうことの作業まで行っているんだけど、先ほどの資料で議論したように、DBとのリンクを貼った上でそちらでの隅括弧との文言の調整っていうのを、
2:29:32	あまり考えずに、ただSAとして入れ込んでしまったと。
2:29:36	いうことで、言葉じりがうまく合っていないというのが、引き続き残ってるという状況だと理解しました。
2:29:42	はい。おっしゃる通りかと思いますはい。
2:29:45	はい。コサクです。なので先ほどの資料で話したように隅括弧の言葉っていうのを吟味してくださいっていうのをやると、これまで話をしてた言葉が変ですねだったり、
2:29:56	ここはどう、どうしてこうなってますかっていうのも解消していくもんだと、いうことで理解をしました。で、ちょうど 83 ページに先ほどの
2:30:08	固縛内的みたいなどころになるようなものもあってですね、これは見ると、
2:30:19	耐震に飛ばしているはずなのに、耐震は何も考えずに、SA固有の、

2:30:26	条文ですみたいにして書いちゃっているっていうことなどが問題かなと思うんですけどいかがですかね。
2:30:41	こうやられるのは難しいな。
2:30:44	そうですね。もともとこういう家は飛ばしてるけど、耐震は入ってイセないんだよね。ほとんどです。
2:30:52	古作です。耐震はそもそも、受ける枠はないんだけど、同等のものがあるという類似のものがあるよねというので、それとセットで、
2:31:03	やっていきましょうということになってるから、そのセットにするものの表現と合わせていくということで合わせていきつつも、可搬も含まますよというのは明示しなきゃいけないと。
2:31:16	ということなんですよ。
2:31:17	なので、竜巻と同じようにするっていうのはナンセンスです。
2:31:23	はい、宮城志田でございますはい。耐震側とのコラボの整理もした上で配布の隅括弧、アトワス味覚の書き方ルール化して、
2:31:33	合わせていくということで展開できればと思います。はい。
2:31:43	室長大岡です。ちょっとさっきの全周破断の話出たんで、162 ページ目の薬品の方は、
2:31:50	配管の全周破断を考慮したって書いてあって、
2:31:53	表現はちょっと違うなっていうところで、ここって何か理由あつてのことだったんです。
2:32:00	そそういうことでもないんですが、おそらく先ほどの説明から、
2:32:05	はい人によるヤギだと思いますはい。はい、規制庁カシマこれだけじゃなくていろいろ
2:32:11	思う。
2:32:13	同じ
2:32:15	同じ。
2:32:18	薬品側の屋外機器配管は、
2:32:21	これは、
2:32:22	必要なんですか。
2:32:36	日本インダでございます。これも先ほどと同じですね屋内の機器配管だけ。そうすると、建物構築物はいないのかというのを、
2:32:47	この辺、すいません古作です。薬品一番ちょっと引っかかっててですね、有毒ガス考えるとタンクローリーはいるんですよ。
2:32:57	それは考えますって言ったはずなんですよ。それを屋外機器と呼ぶのかどうか。
2:33:05	で、

2:33:06	かつ、タンクローリーからタテやあ、接続孔につなげるホースをどうするのかと。
2:33:12	いうそこら辺の扱いをですねもうちょっと認識共有した上で、ここら辺どう扱うのかっていう話かなと思います。で、今話のあった建物構築物も、
2:33:23	薬品の堂々っていうのが非常にポイントだったと思うんですけど、そっで何も触れなくていいんですけど。
2:33:32	日本インダでございます。建物構築物は登場人物としております。完全に今抜けてるかなと思います薬品特に道路のところだけ対策が必要で言ってたような気もするので、それが、
2:33:46	枠として登場しないのはおかしいと思うのでそこは要求今までのやりとりとの関係も含めて整理をします。
2:33:53	あと屋外の医薬品のタンクローリーとかの転倒とかによる漏えいの影響っていうのを、どういうふうに展開していくのかということと大体小なりを考えなきゃいけないかっていうところを整理をして、
2:34:07	この枠の中のどこでどう考えているのかということがわかるように、整理をしていければと思います。
2:34:14	はい。コサクです。
2:34:16	そういったから、
2:34:19	建物構築物書いてあるのはっていうので防護区画、漏えい経路等、
2:34:26	防護設計というところには入ってて、
2:34:31	入ってると読めなくもないんだけど、でもこれを図だけを最初にグループ1で言われても、
2:34:39	考慮すべき化学薬品がどこにあるかもわからずに、
2:34:44	これでわかるというわけでもなく、どうやって説明すんのかなっていうのがわからない。
2:34:51	ですけど、
2:34:52	そうですねどうなってますけど、もう共通中に出てるはずですけど。
2:34:59	賃金、
2:35:01	グループごめんなさい、旅費なので、1って書いてあるのはあれですね、設備のですね、分類の話ですねすいません失礼しました。はい。
2:35:12	そういう意味でいく等、この考慮すべき化学薬品の設定から流れていく流れの中で、
2:35:22	あれだよな。
2:35:23	道道に入っている配管は多くないし。ふうん。
2:35:30	由良君という、
2:35:33	あれなんです。

2:35:36	コサクです今ほんにとって言われたので、私もそうだよなと思いながら、ふと思ったんですけど。
2:35:43	どうなの、
2:35:45	環境って、屋内環境として、
2:35:49	建屋内と同じでいいんですかね。
2:35:53	だから他の外傷とかも説明している、いわゆる屋内の設備はって言ったやつに、
2:35:59	労働がとてとても変えようと思って、
2:36:03	反響条件になって、
2:36:05	あんなの関係もなければ、タダノつだよな。うん。
2:36:08	いう。
2:36:10	はコサクですねなので、いやオクないでもいいんですけど。
2:36:15	屋内であつてもう普通の建屋内とは別じゃねえかなと。うん。
2:36:20	いうことだと思うのでちょっと説明としてはちゃんと枝葉は考え、
2:36:25	うん、てもらった方がいいかなとは思いますが。
2:36:29	ちょっとそういう意味ではユニシアでございます中に入っているものが、屋内機器配管っていうことを基本、主配管として登録されてるものが、
2:36:39	あつて、それがエントリーされてるから、あとは環境要件を考えた時に屋外設備と言えますかっていうところのオカダの差ですか。かなと思ってます。もともとエントリーされてないんだつたらもう建物道路としてエントリーしてその中に全部込み込みで説明するっていうことを手段で考えないと。
2:36:57	多分成立しない気もするので、その辺の関係性をちょっと整理をしていければと思います。はい。
2:37:19	はい。既設ヤマグチカサオカハラ等、今日、資料について規制庁側から勝手にございますでしょうか。
2:37:29	特によろしければ、
2:37:32	原燃側からの議会 2、
2:37:36	K83 で、いや、いいますのはちょっと耐震の義務も迫ってますけど、
2:37:43	古作です。少し整理するの時間はとるようでしたら、取ってから振り替えいいをしますけど、その際耐震の方の準備も進めといていただいて振り返り終わったら、
2:37:57	対応できるようにしていただければと思います。
2:38:04	はい。宮城イシハラでございます。そうですね。耐震チームは水、会場に来てますので、すぐにスタート切りをな展開になってます。
2:38:16	私の振り返りがこの場ですぐできるかという、やりますか。はい。はい。このまま続けていきますはい。

2:38:24	はい、じゃあ、どうぞ。
2:38:28	はい。乳井ニシダでございます。これとこれは一緒。
2:38:36	まず
2:38:38	野辺先生の所衛生関係の要求事項の整理ところは1、本文の1ページ目にあった個別製造部の取り扱い、36条から個別条文に増える項目がないのかということの整理も含めて、
2:38:51	検討するということで宿題になっていると認識をしています。
2:38:56	当本部4ページの森林火災近隣工場等の火災の影響のところの、
2:39:03	取り扱いですね、現状まず何を書いているかっていうのが趣旨がわかりづらいのでその整理をするということと、それぞれ外部火災で考えている事象等の
2:39:13	関連性を踏まえて整理をして文章に追加の関与していきます。
2:39:19	あと外部火災絡みで船舶火災車両火災についての設計上の整理ということ、DBSAのコラボするときの飛ばした機器との関係であったり、
2:39:30	感じの話だけじゃなくて使用時の話も含める必要があるのかと、いうことも含めて整理をするということ。
2:39:38	です。次が、
2:39:42	個数要領の扱いのところ、全体のグループITグループさんの関係性を整理をして、いろいろとお話をさせていただいたので、
2:39:54	それも含めて、整理を進めたいと思います。
2:39:58	はい。
2:39:59	あと悪影響防止の件、被害者加害者の関係性SSAAB両方ともですね結局、防護対象といって被害者の子家を持っているものもあれば、それと同時に、
2:40:13	加害者になるかを持っているのでそれが設備で何も変わらないということも含めて、関係性を、整理をしていく的場してって同じようにやればいいでしょうと、いうことなのかもしれないですが関係性整理をしていくということです。
2:40:27	はい。
2:40:29	あとは、操作性の関係ですね。
2:40:35	法令、何だっけ。
2:40:39	そうだ。
2:40:40	操作性の確保で没水、阿藤。
2:40:45	海野スロッシング呉とあとは何だっけ、屋外ですか、に飛ばしてましたけどそれ以外も含めてどういうふうな考え方で紐付けをしていくかということを最終的に資料3の中で展開するものではあるので、
2:40:59	現状整理をする範囲というちゃんと決めて、

2:41:03	今の現状整理の見やすさというか、そういった部分を、手当をしていくということかと思ってます。
2:41:10	はい。
2:41:12	あとは、
2:41:17	全体のSAとDBの紐づけの仕方の、基本的なルールというか考え方をまず整理をして、それに従って全体もう一度アノミナミ、見ていくと。
2:41:28	ということで私の方で、その全体の考え方を作って展開をしていきたいということが宿題になってたと思ってます。
2:41:37	はい。あと今できてないって言ううちのところですね、全体を宿題として認識をして作業を進めていくということ。
2:41:46	あとは、
2:41:49	添付1の方も同じ今話があったようなものと同じようなもんですかね。あと階層の話ですか。安光1ヶ所に返すとそれぞれどういうふうな受け方をするかと。
2:42:00	いうことをDN鳥羽四方のところ、階層の整理とあわせて、それもコラボして、
2:42:06	最終的な形に持っていければと思います。今後言います。また要求種別にとどめて大分ぐちゃぐちゃになってるところは有休種別云々と言えどどちらかという設計としてコラボするときに説明すべきことを考えて、
2:42:18	整理をしていくということですかね。はい。それがSA関係の話。
2:42:23	あと説明グループの関係の話は、
2:42:34	別紙のこれ何だっけな八条のサンプルつけたやつか、DBの設計項目添付1圧所とかでやっていた添付1を開いておきながら右側に、設計項目の
2:42:46	説明すべき項目を整理してましたけどまずは全体としてこれ何をやりたいのかという全体像、最終的に衛星をコラボした状態での整理をしていくんだということの現在途中段階だということも含めて、採用展開であったり、
2:43:01	現状の位置付けを明確にするということ。
2:43:05	あとは、竜巻のところで飛ばし言い方で、
2:43:11	竜巻防護設計対策設備で守るという、開口部か何かの設計方針の説明で、竜巻防護対策設備で守る場合はその設計は他の設計項目に、Noに飛ばしますと、
2:43:24	いうところ、それを説明すべき項目どうて展開するかってところが、現状ちょっとやり方としてはまずいので、余部キシモトに持ってくと、いうことかと思います。はい。

2:43:36	あとは、隅括弧の中の括弧書きの書き方も含めて、全体的なルールを決めて統一的に展開をしていくというのが、
2:43:47	共通的な宿題かと思ってます。
2:43:50	あとDBA精鋭じゃねえな。計装と個別、SAの条文とかの関係で、飛ばして、個別の設計を、例えば計装で展開しますというようなその関係性がわかるように、
2:44:05	整理をしていきたいと思っはいますはい。
2:44:08	あと最後の別添でつけていた説明グループの設定の話は、外的内的の話であったりこれも書き方の全体的な統一をして、
2:44:19	整理をしていくということです。
2:44:22	はい。あとは、赤字の追加のSA分の書き方ですねこれも書き方を整理して展開をしていくようにしますと。
2:44:32	ということです。はい。
2:44:35	アラカワですね最後に言った、化学薬品の漏えいのところは全体含めて整理をさせていただきますはい。以上です。
2:44:43	めっちゃオオウチです。
2:44:45	マエネのメニューで規制庁アカセサトウしてありますでしょうか。
2:44:52	に、よろしければ、
2:44:54	ちょっとこちらも、
2:44:56	限界があるので、すみません、十分休憩挟んで再開っていう形に、
2:45:04	表します。
0:00:00	はい、6を改定いたしました。
0:00:02	東京計器から参加者がちょっと変わっておりますので、参加者の紹介から始めたいと思っはいます。規制庁から若井技師から、
0:00:10	コサク、
0:00:11	キシノハバサキオノオクれて、管理官のハセガワアノカミヤが行われる場合には、参加する予定となっております。
0:00:19	日本原燃の出席者変更があれば別途集積を紹介していただき資料の方ご説明お願いいたします。
0:00:27	はい。日本人事務局の仲間です。
0:00:30	エンドウもし変更になりましたので改めて紹介いたします。
0:00:35	Steeringチームより、ケツクノモト。
0:00:40	ポートメンバーといたしまして、オオハシせ。
0:00:43	当然設計様から、ウノ様。
0:00:46	以上4名に加え、事務局参加させていただいてございます。
0:00:51	ご確認いただきます資料でございますけれども、
0:00:54	本日ご提示差し上げました、入力地震動の作成、策定、

0:00:59	次回御説明の骨子案というものを確認いただきたいと思っております。
0:01:06	それでは説明の方開始させていただきます。
0:01:11	日本原燃野本でございます。資料のご説明ですけれども、この資料の位置付けですけれども実際の会合でのご説明の資料に入るべき骨子を
0:01:29	更新するということで前回ちょっと1回固定したんですけども、ちょっと我々の認識がやはりちょっと違っておるといいますか認識不足があるということで今回ちょっともう一度ですね、改めまして、次回、ご提示すべき何をこういうことかなと。
0:01:47	いうところで骨子を持ってきたところでございます。で、ちょっと言い訳になってしまうんですけどもちょっとまだですね、植栽については我々もですねなかなかちょっと、
0:01:58	議論しつつやっているとでございます。ちょっと大穴がまだちょっとあるところもでございます。ですけども今ちょっとですね、この考え方としてこれで方向性間違っていないかと、いうことを確認、
0:02:14	いただきたく、ちょっとこういう形でお持ちさせていただきました。内容でございますけれども、全体といたしましては、本ですね目次のところでちょっとご覧いただけますように、間野善太飯野、今回の計画ですねデータ採取と分析、まずそこをきっちり説明
0:02:34	するというのが大事だという認識に立ってまして、その全体計画をまず5アノをお示ししましてですねそれぞれのデータにつきましてはA病院それぞれにつきまして、ですねDた
0:02:50	この私それは信頼度が
0:02:54	どのように担保したかと、いうことそれから、分析において、その外部支援者の方々の
0:03:03	代表者の方々に、どういう観点で、信頼性を担保するための分析が必要かという観点もお話いただきつつ、まとめて
0:03:16	こんなところでイシイて矛盾でないと思っております。ちょっと我々の中でもデータをデータでまとめて、もしまとめるっていう構成もあるかなとか思いながらやってたんですけども、やはりデータを、まずこういうふうにやりましたそれからもうセキありましたと。
0:03:31	ちょっと一決が見えないとなかなかそのデータを基にした分析になりますんで、わかりづらいなと思いつつ、ちょっとこういう形にしたというところでございます。
0:03:42	そうですね3ページのところは、アウトラインですね、今回そのデータの話とするCAMS開きありますということをざっくり申し上げてございます。

0:03:53	4 ページのところでは、この位置につきまして、今回の審査会合での御説明 1 個のデータの分析、ここまで説明しますということを
0:04:05	示してございまして、今回ですね、本資金に関して、データと本籍に関して、若干乗り遅れるところがあるということを従前から申し上げておりましたけれどもそれがですねこの
0:04:18	とおれんじ点線の右側のところ、今後他のところに少し上げております追加PC検層のデータを反映した、
0:04:26	評価結果ですか。そういうふうなところを、わかるようにちょっと記載するとちょっとこういう形にしております。
0:04:33	5 ページからがそれぞれの因子についての
0:04:38	ご説明でございましてけれども、それぞれの因子の冒頭にですね、このですねデータの取得の内容とそれからそのデータ取得にあたっての信頼性をとにかくタカノ大テスト
0:04:56	それからその右側には分析の内容、ソースの分析にあたっての信頼性を確保するための着眼点をそれぞれ表の形に記載してございまして、一番右側の 4 番ですねそれを踏まえて敷地の地盤の特徴をとらえた
0:05:14	地下構造としての、我々のある程度見通しを記載すると、移転ダイジェストそれぞれの頭のところにしております、
0:05:24	それを具体的に、その次のページ以降で展開するという構成でまとめてございます。
0:05:32	で、このですね岩盤部門の分析等でいきますと、6 ページ、7 ページまでが、データの整備になってございます。
0:05:44	ROV計器はこの地点でデータをとっておりますということを追加データを踏まえた含めて、苦心しております、7 ページでは、その既往データ及び追加データが、
0:05:57	ゴコウで、ザイゼンに占めております。主賓グループですけれども、こういうボーリング子に対して、データですね速度構造としてこういうデータがとれましたというデータをお示ししておりますという形で、
0:06:13	を送っておると、いうことをお示しようとしております。その人にデータの信頼性ということで、このデータをどのように知らせたとするような、
0:06:24	確認を行ったかと、いうことで、きちんと校正してますですか規約にのった家、その辺のところを記載しているところでございます。
0:06:37	このですね一番最後の 70%のところには本データから獲られた緊対 1 における分析の 4 上げ項目ということで記載してございますのが、これがですねそれぞれの検討の中でですね来た地形について、
0:06:52	この因子の性能だけじゃなくて他に反映すべきものが、

0:06:58	あるものについて、こういう形で巻き起こしているというところでございます、この岩盤部セキ等につきましては、今後ですね、
0:07:09	このBポツの方ですけれども、井清カガワセキにおきまして、また、緊急性の考慮による入力地震動の比較やるわけですけれども、
0:07:22	その時の解析条件となる分析等に対して、この追加成果を踏まえた分析を反映する必要がございますから、それ反映して、再度分析を行って参りますという解析のことを記載するという形で整理してございます。
0:07:39	で、8 ページから 5 をですね、11 ページまでが分析に、
0:07:49	かかる部分になってございまして、8 ページでは、その分析のですねちょっと展望という形で書いてございまして、取得したデータに基づき、グループピングいたし、勤務とそ
0:08:05	のその他手当をグループピングいたしまして、その上ですね、この隠れ家取得位置及び、建屋設置位置における加工の関係も
0:08:17	続きまして、その期間の構造はいたしますということで、これに対するですね、具体的な分析の内容というのは 9 ページで、周辺グループを例として、成果を示している。
0:08:31	ということで、広域つつ、比較速度構造の検討から、この地点のオオイワ構造についての方式を行っている。
0:08:43	いうところで、決まっております。例えばこの主任グループでありましたらば、
0:08:48	そうですね一系とこのエリア内ではそういうのは復帰していると考えられるという結論に至るわけですけれどもそういうふうなことを記載でございますし、同様の検討を他のグループもやっています。
0:09:03	横井ゴツイでございます。
0:09:05	それからこのですね、分析を踏まえたときにですね直下に断層のある地下構造許可にある断層による北コウノ不連続性が確認できるタケヤというのは、それに加えて、基本方向への影響を確認している。
0:09:21	ということで、これにつきましては 10 ページに具体例として、これは 24 ブロックの例ということで、記載してございまして、ここの起点を上ですね、
0:09:33	この下の絵で申しますと、この時点のこういうふうの間野断層が切っていると、いうことを記載した上で、今後ですねボーリング孔として、真ん中にこの件であっておりますけれども、直下のDたとして、
0:09:52	このA棟から 3 に入れておりますけれども、その各 1-2 番物性を、このオレンジのアノ店での
0:10:05	降雨測定をもとに推定いたしまして、そのこの構造、その右のところのちょっと一緒にしてございますけれどもこういう形で、

0:10:17	集計して、それに基づいて、基礎底面の応答スペクトルを、これはしたということで、分析としてはここまでということになることを言います。こういうデータをそろえましたというところまではここで記載している話でございます、
0:10:34	ここから阿蘇、これを責任どう起きるかというのは次のステップであるということでここより以上のことは、申し上げていないと、というようなこういうまとめ方をさせていただきます。
0:10:44	で、岩盤がこうこういうことございまして次のですね 11 ページからが、非線形性のところございまして、非常にページが、この大コストを書いているところ、
0:10:57	12 ページが、データとしてのアノジノフジイがんの、これを代表的な
0:11:04	総額に対して、記載しているというようなところございましてこのデータをしないというのは、この測定に当たっての、この企画運用ですとかそういうところを記載しているというところでございます。
0:11:20	で、これに基づく分析が 13 ページで、これはSslによる、呉をですね、設計条件及び設計条件における、
0:11:33	経年入力地震動の比較ということで、こういうデータを与えていると、というようなところで、オープン式しているというところございまして、システムを差異があるやなしやというところを比較してお示ししていると。
0:11:47	いうところでございます。
0:11:50	で、14 ページ目からが減衰定数のご説明でして、準備は先ほど大丈夫と、こちらは権限が非常に多くございますので、1 の記載がですねただちょっと小さい字で、二つありますけれども、
0:12:07	被災規模がちょっと増えてるというところでございます。
0:12:10	で、15 ページ目がこれがDたの、まず、ご提示ということで、これは
0:12:19	計画に基づいてですね種々のデータを採取いたしましたんで今ここでですね一覧でこういうデータを取りましたと、いうこととともに、それがどういう振幅レベルにあると。
0:12:29	いたようなところのそのデータですね、アニュアル特性といったところも、最初に少し一覧でまとめさせていただいてるところでございます。
0:12:39	で、16 ページ目が、からそれぞれですね、その観測の手法によるデータを今一度映像流していただく。
0:12:49	というような位置付けでの説明がしておりまして、16 ページ目、以上 7 ページ目が、地震観測記録に基づく方法で 18 ページ目が、一切検層による結果、
0:13:04	要望を示しておりまして、1920 ページはこのエザワ検層によるコガ追加調査してございますけれども、この信頼性をどのように担保するか、信

	<p>頼性担保するための混乱について記載してございまして 19 ページ目は、観測は系の信頼性に関して、それから 20 ページ目は、</p>
0:13:23	<p>観測震度ブンスンドをのデータをとっていかと言ったようなところに関する信頼性に関する配慮事項というのをまとめていると。</p>
0:13:34	<p>というような形にしているところでございます。</p>
0:13:38	<p>で、この 21 ページが、3 軸圧縮試験での、できたということで最終的な監視についてお示ししていると、というような形で書いてございまして、</p>
0:13:50	<p>22 ページ目からが分析に相当するところかなというところございまして、ここですね、各データの物理的な積み上げ分析ということで、22 ページ目は、考慮する地震動の振幅レベルを踏まえた分析ということで、</p>
0:14:09	<p>ここでは戦術圧縮試験を引用する形で、SSのレベルが線形条件よりも、減衰定数がさらに増大することがあるといったようなところの考察を入れているところでございまして、23 ページのところでは、</p>
0:14:26	<p>周波数特性を踏まえた減衰定数の成分、材料係数及び算入しについての分析と、ということと、それから過去データの取得位置を踏まえた分析ということで、</p>
0:14:40	<p>それぞれですね、</p>
0:14:44	<p>頭オオニシ活力によるデータは旧オオニシイシダしてできるんですけども、片やですね 12 エリア、それぞれ採取しておりますアノエザワ検層アノデータが両方比べまして、</p>
0:14:58	<p>江藤局長といたしまして、のその地震、えーとですね、この当該の一番大事な数字は検層結果、それぞれですね、いずれも周波数特性の傾きというのは、この</p>
0:15:12	<p>大井はアカシて地震観測記録による検討の結果とよく整合しているねと、というようなところの考察をここ分析として加えているというところございまして。</p>
0:15:24	<p>4 ページからが一番に基づくデータでございまして、こちらはですねデータそのものがまだ 11 日の小関ということでちょっと埋まっておらんのですけれども、</p>
0:15:35	<p>24 ページになりますと、それから 25 ページに追加調査の最終位置を決めてございまして、ここにちょっと土佐Dたの、代表的なものを少しお付けするのかなというふうにご検討いただいておりますけれども</p>
0:15:52	<p>ミヨシ陽議論するところでございまして。</p>
0:15:55	<p>それをもとに 26 ページから、これ分析の話が入ってくるかなというところで、梅本市長とする限りとか処理場、それぞれ分けまして、メモとしては追加調査結果を追加する形での分析をここでお示しすることになろう。</p>

0:16:12	いうふうに考えているところでございます。
0:16:14	最後に 17 ページにですねまとめという形で、ここまでのですね検討を踏まえた、敷地の 2 番を特徴がですか。構造は、結局、我々、どのように見立てたかと、いうことをここで、現状の我々の計画書深沈すると、いうことを考えてございまして、
0:16:34	今ここではですね、ABCDの 4 市に対して、メリット、
0:16:39	言葉でですね、こういうふうにしますということをちょっと入れる形にはしてるんですけども、ちょっとここは内部でもちょっと議論をしているところでございまして、このアノ乳井エリアそれぞれに対して、どういうふうに生かせるかと。
0:16:57	多様性の方がいいんじゃないかといったような議論もしつつ、ちょっと迷いながらここは今まだちょっとこういうところで書ききれていないというところでございます。ちょっと、
0:17:07	広田さんとここにあるんですけどもちょっと方向性についてですね、違うよというようなところがあればちょっと議論させていただきたい。これお持ちした次第でございます。以上でございます。
0:17:20	はい。それでは資料内容について、規制庁が確認事項あればお願いいたします。
0:17:29	はい、規制庁浜崎です。
0:17:32	まだ資料が出て時間もとってないんで、完全にミキってはないんですけども、ちょっと
0:17:39	何点かですね確認。
0:17:42	したいと思います。
0:17:44	ページを追ってですね最初 4 ページのところなんですけども、
0:17:48	今後の対応が随分これ
0:17:55	情報が
0:17:56	プアーだなというふうに思いますけれども、
0:18:00	12 月以降ですね 1 月、2 月と言う事で、地盤モデルという観点で、この話だけでいいんですか、もう少ししっかりと同じを書き込む必要があるんじゃないでしょうか。
0:18:16	はい。県ノモトでございます。はい。おっしゃる通りかというふうに思います。この資料の 4 ページ目のところではこの程度だと示唆したとしてもですね、
0:18:28	一番最後にですね、時価ちょっとどういう形でご説明を差し上げようとしてるかと言ったところの展開は付け加える必要があるかなというふうに思いますので、ここを

0:18:44	今、記載できる範囲のところ記載していきたいと思います。その際は言うまでもなくですね、このですね、あまり何て言いますか、江藤結論ありきのように取られないようにということに非常にいるようにしながら、
0:18:58	我々がどういうふうに進めていくかというプロセスに助言をいただきたいでちょっとまとめて参りたいと思います。今ちょっと記載できてなくて申し訳ありません。以上でございます。はいツチヤオザキです。
0:19:12	北井の方ですね検討してください。それと5ページからですけども、0美馬ウノさんの説明を聞いててもですねまず、岩盤物性についての
0:19:23	話でこういう分析をしましたデータの信頼性はこうやって取りましたというような進め方なんですけど、
0:19:30	普通、こういう物事をやるためにはまず基となるデータの信頼性をこうやって担保します各確保しましたっていう。
0:19:40	そこから入っていくんじゃないですか。どうもやっぱり情報は一緒かもしれませんが構成がですね、結論ありきというやっぱりそういう、
0:19:50	思考に見えてしまうんですけども、
0:19:53	例えば5ページのところもう検討内容があって、データはこうやって、信頼性を確保しましたっていう説明になってるんですけども、あと他もそうなんですよね
0:20:03	結果の後に最後に補足的にデータの信頼性が
0:20:08	についての記載があるんですけども、そのあたりは、
0:20:12	どうでしょうか
0:20:16	見直しといいますか、どう考えられてますか。
0:20:20	はい。原電の後藤でございます。ありがとうございます。そうですね。今濱崎さんがおっしゃっていただいた趣旨を伝えたいと思って我々書いてるんですけども確かにこの順序として、
0:20:34	後ニプロと、ここで説明したデータは、ちなみにコウさんやりましたと。
0:20:40	多様な牙か谷とシモノになってしまうと。
0:20:44	ということなので、
0:20:46	ちょっと工夫として、やり方、こうやります信頼はしないのはこういうふう担保をします。結果がこれですと、というのが多分一番綺麗かなというふうに思いますので、
0:20:59	ちょっとこの構成ですね我々の方でも議論してちょっと見直して参りたいというふうに思います。以上でございます。規制庁の長谷川ですけども。
0:21:08	野本さんたちが今書いてるやり書き方ってのは、決して、
0:21:13	駄目っていうあれではないんだけど、ちょっと我々とイメージが大分異なってるんですよ。

0:21:21	我々のイメージを先に伝えると、まずは、
0:21:30	これまでの既存のデータと追加データを含めた、今回、
0:21:37	の持つデータすべてに対して、こういうふうな形で、信頼が担保できているんですよっていう、母集団全体に対する
0:21:48	信頼性をまず、
0:21:50	作ってくださいねと。
0:21:54	説明してくださいっていうのが、それが一番、
0:21:58	2 番目に、
0:22:00	全体が 12 グループにそのデータを 12 グループに対して適用していくわけだから、
0:22:09	今度 12 グループに対して、どのデータを使っていきますっていうところを、
0:22:19	整理する、した方がいいんじゃないかなと。
0:22:23	思ってます。そしてそこには理由っていうのが当然、なぜ当グループ、
0:22:31	何だっけ。そうですね、例えば A1 とか何だっけこれが AA とか、E とかは、2、
0:22:41	このデータを適用していきますっていう、
0:22:46	ところを作っていくと、これ、この間からずっと話してるんじゃないかなと思うんですよ。で、今回、最終形というか、最終形じゃないんだけど、
0:22:56	この D たに基づいた、
0:23:00	要は直下の地盤モデルのイメージってモデルじゃないな、地盤物性地盤の。
0:23:06	がこんな感じじゃないかっていうのは、まず、
0:23:10	途中の整理としてやってくださいねっていうのを言ったじゃないですか。
0:23:18	そうすると、素行にはそこをイメージした時にどういうものがあるかっていうと、直下の地盤なんだなので、
0:23:28	どういう
0:23:32	なのかな、地盤、物性というか層厚がこういうあるエリアは春、岩盤の地質的に、総圧がコウですとか、片野こんだけかこんなふうに傾いてますとか、
0:23:45	そんなのがあってそこに、その層ごとに Vs だとか、ろうというか G であつたり、
0:23:53	それから各々のその層に対応する下水いっていうものが、
0:24:01	あるじゃないですか。
0:24:03	で、それを、例えば Vs はこのデータ使っていきますとか、そういうふうにしていくのかなと思ったんですよ。

0:24:18	こないだそれがノモトさんと、前回お話しした時に、何かマトリックスっぽく できますよねと言ってその箱をできたマトリックスの、
0:24:29	箱ごとに説明をしたらいんじゃないかっていうような話もしたと思うん ですけど、今回随分ちよつと、
0:24:37	違っちゃってるみたいなんですけどそのあたりって、
0:24:41	どうだったんですか。
0:24:45	現年ノモトでございます。えっとですねおっしゃっていた行った意図と同 じ意図を我々表現しようとは思っておりました。で、
0:24:57	だからそういうことで、はい。ある意味主役がグループなんですよ。
0:25:04	うん。
0:25:05	だからあるグループに対して説明を、
0:25:10	すればいいんじゃないかなと。
0:25:13	グループっていうのはAとかBとかEとかだっけ。
0:25:20	僕は 12 のグループね。
0:25:23	はい。はい。
0:25:24	国広税理士。
0:25:30	そうですね。
0:25:33	まず、A、
0:25:35	サトウデータの分析の際に、
0:25:40	結論のところは 12 グループに対して、ノーであるところまで、ちゃ んと
0:25:50	繋がるような記載をすると。
0:25:53	そうすると最後に検討をまとめたときに、12 グループに対してこうだよ ねっていうのが、ちゃんと集まってきて、それで、その一番の 1、データに 基づいた 2 番の整備というのが、
0:26:08	12 グループに対して、行いましたというのが一番最後の結論。
0:26:14	そういう構成に、
0:26:17	念頭に置くとすると、今足りないのは、最後 12 グループにどう適用でき ますかというところを、まだ書き切れてないのが随分あると、ということと 最後の結論のところ、中に分けてつけてないところなのかなとい うふうに理解しますが、イメージや、
0:26:34	出ますでしょうか。規制庁の長谷川ですけれども、大分違って、私 たちが言ってるのは、あるグループ、
0:26:45	に対して、最後の結論をイメージして、
0:26:49	その説明をしてくださいと。
0:26:52	だから、

0:26:55	1 個のグループだけ説明すればいいですよっていうその 1 個のグループをまず説明して、
0:27:02	くださいという。
0:27:06	はい日本原燃決得です。すいません私ちょっと一番の申し訳ございません。今、我々の資料はですねこの要員が主人公になっていただいていると。
0:27:19	いうので、これお客さんはい、現状はこうなってますっていうのは言わなくても多分いいんだけど、そもそも 4 イシイじゃなくて、それを全体を見て、どう考えるんだということはちょっと、
0:27:33	こちらは言ってる、それを表現するのは、グループごとじゃないかという話を今したってことなんですけど。
0:27:40	はい。うん。だから、基本的に例えば F 施設周辺っていうグループがあるじゃないですか。そうですね。はい。そうするとそこで、その、
0:27:50	何て言うのかな、地下構造をイメージ最後するわけじゃないですか。
0:27:56	はい。ですそうすると基盤から、層厚がこんな層厚になってます。うん。
0:28:04	その
0:28:06	ここに Vs がそれぞれコウですみたいなのを、例えば MS とか NT とか MT とか、こういうデータ使っていきますみたいな。
0:28:18	ものが、
0:28:20	そういうのをまずが欲しいんですよ。
0:28:23	うん。この F 施設周辺の、例えば部、要はもうそこに当てはめる物性値っていうのはわかるじゃないですか。
0:28:31	H だとか G だとか、
0:28:33	Vs だとか、裾圧それを作るイメージをするためには、すそういうパラメーターで長が皆さんが言ってる 4 因子かもしれない。それがね。
0:28:47	その 4 値を、
0:28:50	この F 施設周辺の 4 石それぞれに他、使う。
0:28:57	データはどれですか、っていうのから始まってってというそういうイメージなんですよ。
0:29:05	元の方でございます。ですね、もしちょっとまた気がいたら教えていただければ一旦ですけども、今教えていただいているのは、あるグループをまず、このグループについて説明します。まず置いてやって、そうするとそのこのですね地盤構造というのは、今ちょっと画面にも出してありますけれども、
0:29:23	こういう地下構造になってるにというのを示した、見ていて、このグループ F、例えば今、施設収益をおっしゃっていただきましたけども、インダであればそのグループの

0:29:35	ところでやられているPS検層オオノデータっていうのは、追加調査も含めてこれだけであると、そのPCのデータ把握を踏まえれば、小速度構造がこうであると。
0:29:50	ということをこれについては、まず、
0:29:54	物についてお示してるんで、減衰についても、このF施設周辺の適切周辺の減衰として、語ろうと思えば、
0:30:07	岩種がこうであって幾何構造がこうであるので、それを代表できる例えば、
0:30:15	エザキイソダカセトっていうものがあります立ち、地震観測記録による検討であれば、それに一番近いのはこれですね、というのをもって、
0:30:26	これと言ったような、そんな検討を、ある事務、あるグループに対して1基相談でやって、他のグループも同じようにやりますよと、ちょっとそういうふうな、
0:30:37	イメージを持ったんですけども合っておりますでしょうか。大体合ってる。
0:30:48	芸能でございます。承知しましてちょっと待ってくださいこちらで質問者が、イメージは深尾ちょっと話しております。少々お待ちください。
0:31:06	前回のこの話してるし、
0:31:09	ずっとしてる。
0:31:13	だから、こういうのしか測れないんですよ。こういうのも余計なんだよね、こういうところ。
0:31:20	これしかないんですよ。
0:31:23	そう。そう。
0:31:29	けどね。
0:31:37	ちゃん広いなんて、うん。だから
0:31:41	しょうがない。
0:31:42	これは全然要るんすけどね。
0:31:55	そうだからなんてのは、血
0:31:57	が最後の結果を見せたい結果をイメージしてそれに対してです。
0:32:03	いう説明の仕方がイイダ。
0:32:05	考えないといけない。
0:32:08	丸ごと全部やろうとしてるから、
0:32:11	そのあと続かなくなって、
0:32:14	いらぬデータがいっぱいあるわけじゃ、もうね、あそこの部分でよろしいですか。はい、妹尾でございますお待たせいたしました。ちょっとですね、役見れそうだというのでこちらでももっと、
0:32:28	何ですか、頭が一応そろったと思います。思いますのでやってみます。
0:32:34	規制庁の長谷川ですけれども多分合っていないんだと思うんだよね。

0:32:41	なのでこの全体の流れを、
0:32:46	説明してもらってもいいですか、今わかったっていうのであれば、
0:32:52	まず、
0:32:55	どういう形で説明していくかすごい簡潔でいいですよ、1分以内ぐらい。
0:33:01	はい。はい、承知いたしました。まず、例えばキリンググループの前身部分についての、ごめんなさい。広瀬衛藤です。データの信頼性の話からやって欲しいんだよね。
0:33:14	はいはいはい。
0:33:17	そうするとですね話の流れと引いては、
0:33:23	まず、収集グループだったらそれで検討しますというのを宣言した上でですけども、土本佐々からは、最初に、最初に既往タート新しい掘ったボーリングデータ、こんなデータを信頼してあるの取りましたと。
0:33:40	次に、旧2グループで見るとき例えばF施設で見ると、岩盤の物性は、このボーリングデータ使うな、正しいと、近しい打ち勝ち近いところ直下を使うんでこれですと。
0:33:53	そうこう並べてみたらこういう、今みたいな、何ページこれ、
0:33:58	9ページみたいな、出てきて、岩盤はこれですねと、この五つのデータで幾つか難しいなんで使えますねと、非線形線形は、非定型ですね、
0:34:10	減衰は取れてる新しいとったボーリングでPS検層もあるし、近くの地震観測記録はこういうのもあるし、それで見ると、昆このぐらいの値をこういう傾向にありますねと。
0:34:22	競争は、ここは埋め戻しなんで、新しいデータを取った感じ、認識で分けるんか平均にいくんだという結論があって、これがF施設のデンヨーですと、
0:34:33	同じように、全部やりました結果は別紙、やった結果を別紙に置いておいて、紹介するのは一つのサンプルを説明して、こういうことをやって、結論は12グループの
0:34:46	荒PS検層これ岩盤はこのデータを使いました。非線形はこうなってます。減衰は、今聞き結果的に三つか四つのエリアに分かれます。
0:34:58	競争は埋め戻すと、改良シバはちょっと違うんでこれとこれが違うやり方と言ったのが、一覧表で出て最終的にはでき上がる。
0:35:08	で、これが最もらしい、六ヶ所の施設の最もらしい地盤のモデルという地盤の構造と我々は考えてます。また、
0:35:18	丹治前のデータがあるんでこれを補足するデータはまた1月にも出していますけどそんなに外れてないでしょうっていうのが今回の説明かなと。
0:35:29	うん。

0:35:30	私が認識が違って、すいません間違っておったのが、最初にたのが必要で出たこれであると、データの取り方はこうであるんでそれを信頼性を担保する、やり方はこうである、こういう形で信頼性のあるデータを取ったと。
0:35:46	世の中全体総論としてまずあって、それからパックグループでの議論が始まるとちょっとこういう1人だということを私どもがあったというふうに理解いたしました。
0:35:58	はい。大体決得さんのお話でよくいいと思います。なので、最初のデータの信頼性の部分というのは、すべての12グループ分全部の
0:36:11	データの信頼性をまず言って使えるデータはこんだけですっていうのを宣言するほどによって、そのDたには多分番号なんかつけた方がいいんですよ。
0:36:24	わかりやすくするために、
0:36:26	番号なり、
0:36:30	1から100円、番号をつけて、Fのところには、何か番号がつくじゃないですか。例えばね、PS検層のP数1とか、例えばね、
0:36:42	それからボーリングが100個あれば、ボーリングの位置から何だかとかでいっばいで、なんかそういうのが、た分、データに対して、多分番号振った方がよくて、
0:36:56	4イシイがG
0:37:01	グループ1アリマここでUf施設周辺の要因しわに対して、Hについてはこのデータ使います。
0:37:13	どうぞ。Vsにはこれ使えますとかっていうふうに、そこに何か番号が入ってくるわけじゃないですか。
0:37:21	例えばね、表みたいにしたらね、
0:37:24	うん。
0:37:27	イメージ的にはそうするとその箱1個ん中は、なぜこれなのっていう説明が、これはまず、
0:37:37	F施設の図で見てもわかるように府施設周辺の、この直下のボーリングデータですから、これ当然ですと。
0:37:45	という説明で、終わるわけですよ。
0:37:50	ちょっと説明があるのが、多分、Hい現数の時には、直下だけ。
0:38:00	直下だけじゃないやつだから直下にはほぼなかったりするんで、こういう広域のデータ使いますみたいなのはちょっと説明が必要になってくるっていうまずその
0:38:11	コウ。

0:38:12	あるパラメータに対してこのデータを適用しますっていう説明をしますと、それが説明 1 なんだよね。梅谷に※でデータの信頼性の後の、
0:38:24	説明が 1 個ありますと。
0:38:27	そして今度はその適用がこのデータだけでいいよねってなったら、そのデータの範囲の中で、結論的には、
0:38:37	データ並べたらこうだったんで、こういう結論んになりますと、
0:38:44	いうふうに説明してつたらいいんじゃないかなと思ってます。
0:38:51	県ジンノでございます。表記的だと思っております、1 個すいませんちょっとくどいようなんですけども、冒頭にデータの取り方、それからその信頼性の取り方と、
0:39:06	言ったようなところ全体として語るというのは理解できましたんで、ちょっと今の話ですねそこで、こういうネタが全体も取れましたというね、とれたデータを全部眺めるといところまで、
0:39:19	もう最初に全部やってしまって、そのあと各エリアに移ったときに、どのデータ使いますかと、いうことの説明が始まるとこういう構成かなというふうに理解した、しました。はい。
0:39:35	進展しない。うん。それでいいと思いますケツクさんと同じ、同じなんで、ただあとねもう 1 個、もう 1 個ちょっとケツクサノでちょっと気になったのは、
0:39:45	サンプルで 1 例を紹介すればいいわけじゃなくて、12 グループ全部説明はいるんですよ。
0:39:53	もちろんそうですね。そこがこれ知ってはいた正しい、1 個説明すると以下同文っぽいやつが結構多分出てくるっていうだけ。なので、我々ね、
0:40:06	今度は日にちと時間との戦いだから、
0:40:10	どこまで。
0:40:12	そういう整理が可能なんだろうかっていう。
0:40:16	うん。だから最低限 1 サンプルぐらいまでは、本当の最低レベルとしては欲しいよねと。
0:40:24	はい。
0:40:32	いくつかはできると思います次、ここで過熱中に全部宇和言いたいところですけどもいくつかは一つではなくて複数の説明し切れると思ってます。はい。
0:40:46	あとコサクですけど、いくつかはっていうののイメージを作った方がいいと思うんですけど、例えば、こので、
0:40:57	何か論点あります。
0:41:00	元ノモトです一番素直なところになりますけど減水ぐらい。

0:41:08	例えば、このあれで衛藤を許可に断層があるとかいうようなところはまた別にちょっと出してこないといけないというのは、イマダタジリを出しますけれども、こういうものをちょっと別に出すような必要が出てくるのかなという。
0:41:20	感覚を持っております。はい。なので、先ほど管理官が言ったような減衰はその3点でしか、各エリア、
0:41:29	1点しかないようなこともあり、他のちょっと離れたところ大丈夫みたいなところの話をどこで潰すんだと。
0:41:37	ということで先ほどの断層があったものはここで潰しますと。
0:41:41	ということですね、論点の特徴になるようなグループを挙げてお話をいただくといいのかなと。
0:41:48	思います。
0:41:50	はい、了解しました。
0:41:53	下の方でございます。一番最初ですけど、
0:41:59	まず、まず認識合わせとしては素直なやつがあって、そして、それに加えてイレギュラーなやつの方が多分多分いいと思う。
0:42:09	まず今日の認識を、1例で示した方がいいと思う。
0:42:16	神野でございます。承知しました。で、イレギュラーっていうのがどういう分岐になるかということとそれと、現実の値としてどこまでご提示できるかちょっと中で検討させていただいて、ちょっとこういうイメージでというのを早々に、
0:42:31	表にできたらというふうに思っております。
0:42:36	いずれにしろ、その1例のシンプルな1例。
0:42:40	みたいなのが欲しい。まずデータの信頼性の部分と、ここはでも我々、データの信頼性といっても、こういう異なる規格に基づいてこういう試験機で、
0:42:52	普通にやってますっていうことでもいいんですよ、それからちゃんと力量のある者がやってますとか、第三者のこういう期間で家へやってもらいましたとか、その程度の話でしかないですよ。
0:43:08	はい。原因の方でございます。はい。おっしゃってる通りだと思ってまして今回ですね、有識者の方にもいろいろ作文をちょっといただいたりしながら今回ですねご提示もあります。実際のところで話を進めましょう。8ダテつもりです。うん。
0:43:26	それで後は1例なんで、何かマトリックスみたいなものを作ってそこに番号放り込んで、その理由説明するっていうことと、今度はそのマトリックスの

0:43:39	結果は、こうこうこうですというデータ並べて結果はこうですって言ってますっていう、そういう、
0:43:49	三部作構成そして最終的にそいつらを全部集めると、最終的な地盤の、このF施設周辺の直下の地盤の、
0:44:00	藤監事はこんな感じっていう、何か結論を選び、
0:44:06	表なりで示してもらおうと。
0:44:09	いうそこまでを、ちょっと早々欲しいですね。
0:44:16	はい。銀ノモトでございます。ちょっとすいません私だけがわかってんな、いいのかもしれないですけど、今マトリクスっておっしゃってるのは、
0:44:24	縦軸は何で横軸が何ババ鳥越イメージですかすいません。例えばどっちでもいいんだけど、グループではAグループと、それからハラないだよな。
0:44:35	はい。最終的に提示するパラメーター。うん。
0:44:40	さっき言ったように、減衰だとかVSだとか、Gだとか、
0:44:45	ていう、
0:44:48	はい。
0:44:49	ありがとうございます。そうすると、これは一番最後の結論としての企画グループの一番違う機関アシダヤマダハタケセガワって、
0:44:59	わかってるオオヤネオダコミヤコイケ、まずは1個のやつができてる、なんでここでええかで理由が右の欄になるから、
0:45:09	このデータを使ってビジョンでそれを最終的に集約したらまた一つの表になるかもしれないけど、それはさっき話から、まずは1個作って、
0:45:19	それを積み重ねた結果、12グループのマトリクスができます。
0:45:25	だまり、まずねマトリクスのに入るものは、どのデータを使うかっていうデータ番号ですよ。
0:45:36	はい。
0:45:38	それは今説明している対象の黒で上から縦軸グループにして例えばね、横軸にパラメーターとしたら、その1個の箱に入る1グループの減衰には、
0:45:50	ね、1から30番までのデータ使いますとかって、
0:45:55	いうそういう箱の中にはデータが入るんですよ。
0:46:00	はい。
0:46:01	ここの中身はこの中には番号が入って、右っかわに何ですることからだから、その発行ごとに理由は理由は多分もう別途ちゃんと説明しなきゃいけないから、別紙になるんですよ。
0:46:17	ブロック1グループにて縦に並んでいってここの、ここは123コガさん仕事ですよ。これはグループ長グループはよく自分、

0:46:27	先週これこの話ね先週ノモトさんがみずから提案したんですよ。
0:46:33	入ってない。
0:46:34	はい。
0:46:37	言語会話になっちゃう。
0:46:39	大本さんが提案したからそれに乗ってあげようと思ったの。
0:46:45	ねえんでしょ、これね。
0:46:48	だから横軸がグループで縦軸がinシノコウ細かいデータはそっちでもいいよ。
0:46:54	タテタテオクどっちでもいいんですよ。
0:47:15	何か変えてやった方がいいかな。
0:47:19	日本原燃決得ですけどもこちらでもちょっと今議論しているいろんな意見、いろんな意見があって大体ほぼわかってるんですけども、やはりちょっと前後1サンプルで、すぐ
0:47:32	作ってですね共通認識を終えた方がいいかなと思います。ちょっと今、ウダせる壁として早急に作って、このマトリックスのイメージを持てるかというのを、
0:47:44	ちょっと共有してまた議論したいと思います。ちょっとすいません今逸脱かまた追って連絡させていただきたいと思います規制庁の長谷川ですけど、今10分間休憩して、
0:47:55	イメージ図作って出して行って多分、手がキーとかでうちああるんだけどもう、
0:48:04	手書きでいいから、
0:48:07	ここに移したらどうするとか、
0:48:09	うん。うん。エクセルでいいと思うよ。もうエクセルの表そのまんまだから、
0:48:20	種々、あ、わかりました。ちょっと。いや、ちょっと10分ニイタニ15分もらうだけ、多分ね、5分のところ10分っていう話ただけだからさ。
0:48:33	10分10分。いや、ずっと入ってないってちょっと我々ちょっと作ってみますと、少しお待ちください。すいません。今日ちょっと、
0:48:46	十分一歩、
0:48:48	すごい、ちょっと時期的自分です。
0:48:54	はい、事務局の赤間ですけども、10分ぐらい、少々お時間いただきたいんですけども、25分再開で申し訳ないんですけどもよろしく願いしたいんですけども。
0:49:04	はい、規制庁野瀬、25分再開でお願いいたします。一旦録音停止します。
0:00:00	はい。録音化しました。

0:00:04	県ノモトでございますお待たせいたしました。ちょっと我々の理解をして、今ちょっと書いてみたところでございます。これ前提としては、
0:00:16	このマトリックスの上といいますか全然核データの取り方それから信頼性の担保の仕方の、衛藤とったデータの経費が全部あった上で、
0:00:33	じゃあ、このそれぞれのデータが、どこに当てはまるかというようなマトリックスになってるという意味で書いてございます。それから縦軸が
0:00:45	タケヤグループで横軸で、岩盤と表層のブッセン減衰、スズキセトという、そういうふうな整理をしたときに、
0:00:58	例えばむせだったらそこ同等漏斗印象というような、そうやって、
0:01:05	はい。
0:01:08	はい。
0:01:09	すいません。もう一度おっしゃっていただきました。
0:01:11	まずね、規制庁のハセガワですけど、ここに横横のところの建屋周辺じゃないところの横の物性値とか自然形成とかってあるじゃないですか。
0:01:24	はい。
0:01:24	それってさ、最後に、
0:01:27	地盤の物性の図、なり、表なり作る時に当てはめるやIIを書けばいいんですよ。
0:01:41	うん。
0:01:41	それがVsなりVpなり、
0:01:47	ということ。
0:01:48	そうです。
0:01:50	いやだからうんそう。だからVsとVpの欄は別になるわけですよ。だから横軸にVsはVpっていうふうに入っていこうと。うん。
0:02:03	だからあと何か皆さんが言ってるのは、基本的に4人して言ってるでしょ。
0:02:09	はい。
0:02:10	根井。
0:02:12	だから4因子をまず変えてみたらいいんですよ因子ってどれのこと言ってるの。
0:02:19	要因知ってますのは、岩盤のところの物性非線形性、
0:02:26	減衰、それから表層の不正この四つです。
0:02:32	それで、例えばさ、
0:02:34	何だっけ、SHAKEのインプットできる、
0:02:43	それだけで、SHAKEのインプットデータつくれる。
0:02:47	それはその左で表層の非線形性減衰をする声も全部ひっくるめた形でできるということなんでこの表には全部入れてます。

0:02:56	いやできないんじゃない層厚とかさ、そういうのがいるじゃん。
0:03:00	はい。
0:03:04	ですし、この制度、どうなんだろう。色度境界はVsのところのデータからコマツがそう層厚を決めればさね。
0:03:16	なり、そこの層厚とそのなんかさね等っていうのがあるじゃない層厚が決まればその層厚ごとにVsが出てくるでしょって。
0:03:28	だからさね。
0:03:30	作るときにさ、
0:03:31	例えばモデルを作るときに、
0:03:34	層厚っていうかさ厚さいるでしょ。
0:03:37	長さというか、
0:03:41	がん週の、うん、厚さではなくても回収入れなくて岩種の代わりに、Vsとかフジイとか入れるんじゃないの。
0:03:53	うん。そうですねはい。だからVsとね、例えば佐田からGとかがいるわけだよ。
0:04:01	はい。
0:04:03	でもさ、ねそういうのも入ってないよね。老々か。
0:04:14	だから、モデル、モデルの絵みたいなの出したらわかるんじゃない。
0:04:20	だから、例えばさ、再最終的にSHAKEとかいかにするとするじゃないですか。一番簡単なのがそれだからさ、そうするときSHAKEに何してないと入れられないんですかって。
0:04:36	層厚いるでしょ。
0:04:40	成層地盤なね、分けるんだからさ。
0:04:46	誰かわかってる人いる。
0:04:51	原電側にわかってる人いる。
0:04:54	兵頭渋谷。
0:04:58	そうですねはい当然設計のものでございます。ありがとうございます。だから、それを最終的に決めるわけですよ。
0:05:07	はい。基本的には、徒労VsでG0が生まれてますので、それを使えばですね今層厚さえあれば、層厚と ρ Vsがあれば、飼育の成果を回すことができます。
0:05:21	高Vpのデータって、もう使わないよね。
0:05:29	申し訳ございませんVpもちろん使えます。ニューを出すためにですね、UDオダフタミVSPそれがそこが、ある種物性値になるわけですよ。層厚はちょっと別だけどね。
0:05:44	層厚があつて物性値を決めるために、VsとかVpとか、
0:05:51	ローンが要るんじゃないの。

0:05:55	はいそうです。その通り、必要です。はい。
0:05:59	薄
0:06:00	今度は下水だよ、下水は下水。
0:06:05	でしょ。
0:06:08	だ減衰はだから、例えば地震観測記録とかSとか、そんだけいっぱい使うんだけど、そんなわけでもいいけど。
0:06:23	権限なおでございます。ここわあだから、このエリアに起因するデータがどれだという、だからそんなに裁判しなくてもいいかなと思ったんだけど、
0:06:34	いっぱいそこまで分けてもいいですよ。
0:06:36	だからそうすると、あとひずみ依存性ってあるじゃないすか、非線形ひずみ依存特性。
0:06:46	物性値の隣、
0:06:52	ここはどういうことなのっていう、
0:06:56	ここはですね、
0:07:00	そこの岩種のノジリがに基づいて、非線形とがどの位置にあるかというのを、 S_s をもとに、
0:07:12	見ていくということになるんだというふうに思ってくればそこはさ、そのデータっていうのは、お隣の物性値のデータから作られていくんじゃないの。
0:07:23	新座に岩盤のデータそのものは、左側のデータではなくて、ここで示してるもとよりだからですね衛藤。
0:07:37	当然設計のウノでございますが、GG0 ババ1γー泉野瀬につきましては、今何。
0:07:45	やってる。
0:07:47	和泉造船につきましては、岩石それぞれですね岩盤区分されました岩石ですね、繰り返し3軸試験結果から求めて岩盤ごと、岩盤区分ごとに設定しております。
0:08:04	そうするとだから非線形と非線形特性っていう、
0:08:08	違うんだろうね。そこも結局物性なんだよ。
0:08:12	もともとは、
0:08:15	物性能だからGGGがまあとかさ。
0:08:19	2の部分を求める。
0:08:22	等、この3軸の試験が入ってくるでしょ。
0:08:28	はい、当然設計の部分でございます。その通り非線形性じゃないんじゃない、物性なんでしょう。
0:08:38	これまで、

0:08:39	うん、41 で設計の野辺ツボクライマイヤノ、じゃ、まあまあいい絵ですね、先見性でもいいや。
0:08:47	うん。はい、そうやって書いた方が多分わかるんだよね。あと何が要るんだっけ。
0:08:53	原資もそれぞれでやりますとすると、そんな感じで。
0:08:59	いいのかな。そこに今度はどんどんデータ分、
0:09:03	やりますっていうと、3 軸とひずみ依存特性っていうのは、
0:09:07	何でそれ 3 軸の試験結果だけなんじゃないの。
0:09:13	はい、当然セキものでございます。参事そうですね香月さん、岩石コアの、繰り返し 3 軸試験結果だけです。はい。だからひずみ特性っていうのはあんまりそこにいらないよね。だから、
0:09:27	減衰はあれ、減衰はそれで言うと、どの記録からつく使えますっていうことが下に地震記録とSR検層と。
0:09:38	3 軸試験からやりますだからさ。
0:09:43	細かい話すると、泉なんだかっていうのは、括弧書きぐらいだよ。
0:09:50	当銘関野でございますが、D0 につきましてははですね、リバーディーゼルにつきましては、A3 軸圧縮試験、繰り返し参事官知久研のフィーバーニイズを、ひずみ依存性を用いてございます。
0:10:04	1 につきましてははですね減衰につきましては、今は全体のですね、
0:10:12	岩石の減衰ではなくて全体のといいますか、地盤の減衰ですね、檀ホールQ値測定から用いてる減衰というものを考慮して設定するというふうに考えており、
0:10:26	それはだから結果だから結果なんかどうでもいいのよ。
0:10:29	何データ使うんだっていうだけなんでこの表は、
0:10:34	どれだけ求めるときにどのデータ使うんですかだから、本当だったらあの黄色く塗った部分だけでいいんだよ。
0:10:43	使用データの表みたいな格好になるということですね。
0:10:48	それをもうちょっと細分化しちゃったから。うん。
0:10:51	だから同じデータが入ってくるわけよ。VsとかVpとかろうの部分はず、ね、おんなじボーリングコアの中から使うみたいな世界で作っちゃうわけよ。
0:11:02	でしょ。
0:11:04	になっちゃうでしょ。
0:11:10	AなんてPubl逆方向に。
0:11:13	実際に入れたらそうなりませんかって言ってるだけですよ。

0:11:18	天田さんの主義とか、はい当然関野でございます。はい。実際見るとそういうふうになってしまうので今ちょっとまとめて書かせていただいてこんな格好になってしまいました。ただだとすると物性値括弧。
0:11:31	中にVsとかVpとかって入れといて、あそこないしは箱をね、少なくした方がいいよ。
0:11:41	はい。当然でございます。こちらの方、大体わかりましたので、はい、理解いたしました。
0:11:49	ていうのが言いたかったのね。そうするとその箱が皆さんの場合四つでできるのね。
0:11:54	ある意味ね。4 因子と言ってるわけだから、黄色いところ、表層が表彰、層厚を縦軸にとっちゃうと表層の物性っていうのがなくなって、三つ 30。
0:12:06	うん。
0:12:08	表彰のSERP整地っていうのは物性値含まれちゃうんで。
0:12:13	層圧を縦軸にとって、
0:12:17	でもそんな感じですよ。
0:12:19	いや、
0:12:21	いや、そうそう育つっていうのは、今ここで言うのは支持地盤の層構造ですよ。層構造、
0:12:28	うん、だから物性値とはちょっと違うんだよあれは、
0:12:32	ただ、タダですよ、書いたよ、帰ってきてどう言ってもいいんですけど、結局その物性値等と今言ってるのはボーリングデータ、うん。そう。
0:12:45	を使いますっていうことであって、それを明確にしてもらい、ボーリングデータ、幾つもあるよね。どれっていうのがわかるようにするっていう数だけでそうそう。
0:12:57	だからもうちょっとシンプルでもいいですよってまず言ってるんだけど。
0:13:01	そしたらね、何を説明してもらいたいかっていうと、次にそういうのを作ったとするじゃないですか、あんまり細かくしない方がいいですよっていうのがわかるんだけど、
0:13:12	速度コウ例えば物性値にNUとNさんとかEと 55 とか何か使ってますよねと。で、これはなんでそれでいいんですかっていう説明が、
0:13:24	個別にいるんですよ。
0:13:32	だから、ここ、細かく作ると、物性値のうち速度構造ニワえる言うとな、Nさん何だかどこって使ってますよねと。
0:13:42	縦に並んだものを使っていますよね。
0:13:45	その理由は、次にはVS数をそれ使っていますよねその理由はって、おんなじいう並べることになっちゃうから。

0:13:57	ミヤウチエンドウでございます。だからあれですね試験周辺タテタテ周辺についてはこのボーリング孔を使いますんで、それはなぜならば、
0:14:11	はいそれ理由だからさ、理由もわかってるからその理由説明、同じ理由を何十回も説明することなっちゃうよって、小さくは箱を細分化すると。
0:14:22	このケットクソネケットクは、これは何である皇后A棟PS検層のボーリングでやってるのはもう一つの箱にしてしまって、
0:14:33	もうこのボーリングを使いましたという表にすると、
0:14:37	ということですね。でもVsとかVplは、追加の
0:14:44	PS検層だって使ってるわけでしょ。
0:14:47	大学、うん。だからそんなのも入ってくるわけだよ。それ直下じゃないよね。
0:14:52	周辺、周辺っていう意味で周辺のやつで入ってくるからいいのか。うん。
0:14:57	はい。だから価格や商品を使う候補となる側でも、そのイメージはそんな感じ。今は近づいてきた。
0:15:06	なので、ここで説明すべきは周辺ってどこの範囲まで取るのそれが一つなのっていうことだと思います。下水も減衰定数も地震観測局へ座ってそんなに分けなくても、
0:15:19	いいってはいいかもしれないけど、まあまあ分けたければ、それで、
0:15:24	うん。
0:15:27	はい。ですねこのイメージですけれどもそれぞれ地震観測江崎さんそれぞれ別々に撮ってるあれがあるので、なぜ金武に並べるみたいなイメージで一つにまとめるっていうことができるかというふうには思います。
0:15:43	だから、使ったデータは、まずその説明はそれでいいけれども、次の段階になると。
0:15:53	次の段階の話をするときさっき言った物性値は、このデータを使いますそれを我々が、それでいいよねとコミットしたら、今度はその物性値を、
0:16:04	ちゃんと説明していかないといけない。なるから、そんな時にはもう箱ごとじゃなくてもっとおっきくなる。
0:16:11	だったら、どっちみち細分化するからねっていうことなんだけど、減衰も全部の記録を総合的に見るわけだから、データを見るときにはね。
0:16:21	だからそこであんまり分けといても、
0:16:24	とは思いますが好きにしてください。
0:16:30	いいですよそれはそれでそれでいいよ。
0:16:35	うん。
0:16:37	皆さんの整理がしやすいんだったらそれでいいですよ。

0:16:42	さっきの方がいいと思う。余計なことをねもう言うのやめるって言えない。今のこのイメージ、いいよねと、こちらも、
0:16:54	見ておりますしてですね、消しちゃったんだよ。
0:17:02	うん。
0:17:02	そのぐらいでいい、いいですよって。
0:17:06	はい。
0:17:07	雰囲気だったね、雰囲気で、こちらの実放射さっきタテになった方が付き添うでもあったのでちょっとここはナカで、よくわかりやすいやり方を変えないと思います。
0:17:17	余りにも細かくすると、
0:17:21	説明が面倒くさくなっちゃいますよっていう。
0:17:24	おっしゃる通りです。
0:17:32	で、
0:17:34	このデータが適用できる理由を説明する、して、その次に、じゃあ、それぞれ物性値は、VSはもうこういうふうに層ごとにこういうふうに、
0:17:48	分析してやりますっていうそれを1個1個ちゃんと説明する。だから、部分的には今日の9ページの、みたいなものがたくさん出てくる。
0:18:08	とりあえずここまでイメージがあったからもういいやつは、
0:18:13	まずは、
0:18:17	今おっしゃっていただいたのはこのあれですねそれぞれの生産がどの建屋に紐づくかっていうのをこの表でやった水として、
0:18:27	その次に9ページみたいに沿って紐結果、トーセイさんにとって、こういう分析いたしますというのが続いていくっていう整備だねっておっしゃっていただいたんだと理解しました。
0:18:40	よくわからない
0:18:45	規制庁浜崎ですけれども、今示されているのはあくまでもこういう出典のデータを使いますよという表。
0:18:53	或いはこういう考えで設定しますよという項目の表というふうに理解してて、
0:18:59	この項目に対して、今度は、例えばAグループでしたら、どうやって設定していきます。
0:19:07	設定を考えますって説明が、
0:19:10	次の表として出てくると、でき、できてくると。
0:19:15	いう理解はいいでしょうか。
0:19:18	原因のことです。清さんですけども、そのDたのアドレスが異っていいですか、がわかった上で、

0:19:29	その検討っていうのは、例えば今、9 ページで示しているような形で具体的なデータとしての分析が、それぞれの建屋に対して展開されて、
0:19:45	そうですね、それぞれのタケヤグループそれから品質に対して、展開していくってそんなイメージを持っております。はい。しちゃうわけです。次のステップはそうなると思うんですけども。
0:19:57	9 ページからですね、7 ページの追加のところに書いてありますけれども、本
0:20:04	追加データを反映した上で、これモデルを作るんですよね。
0:20:11	はい。そうですね分析を決めていくってことなんですね。はい。規制庁浜崎です。ですから、9 ページ、横並びにしたDた、既存と追加云々はこうなりました。
0:20:22	これをどういう考えで、
0:20:25	地盤モデルとして、
0:20:27	集約させるのか。
0:20:29	その考え方とか、実際のデータ、
0:20:32	その表ができる。
0:20:34	次のステップとして、
0:20:36	そういうふうに理解してますがよろしいですか。
0:20:40	はい。堀田県民としては、今図 9 では並べておりますけれども、これに基づく速度構造は素直に出てくる職責として出てきた速度構造があると。
0:20:53	こいつをまた平均化するところこれが地盤として、平均化していいよねっていう分析が次にあって、その次に平均化する処理っていうのがまたやってくる。
0:21:07	なのでそういうステップをお話しするっていうことですか。菊池浜崎ですけども、7 ページに書いてある、反映したデータに結びつけ、
0:21:19	再実施、検討を実施するって書いてあるんですけど。
0:21:23	反映したデータをどのように、今原電は反映、
0:21:28	考慮して、
0:21:29	検討しようとしてるんですか。
0:21:33	追加データを反映してって、再解析を行うとかですねこれは非線形の話にしても、
0:21:39	うん。
0:21:41	追加データを達しても、それがもうオオツカデータ+9 データが全データであるとみなして、それを全部並列に並べて、改めて分析いたしますという、そういうことを、
0:21:57	明記すべきっていうことですかね。

0:22:00	いやすいません。そんなふうに、あくまで
0:22:04	今、今、
0:22:08	施設アオキなんですけど7ページです。
0:22:12	例えばこれは非線形の影響について、再度解析をする、追加データを踏まえてですね。
0:22:19	はい。というふうに書いてあるんですけども、
0:22:22	はい。再度解析をする時の地盤モデルってどういう地盤モデルを考えてるんですか。
0:22:29	それは追加調査のPS検層を踏まえて設定し直した後の大山です。はい、瀬崎です。その追加調査を、
0:22:39	もうせ、踏まえた地盤モデルをどうやって設定する。
0:22:44	例えばAですと二つ、PS検層増えたので、それを単純平均するのか或いは総数はどうやって考えるのかとかですね。
0:22:54	結果的にAとしてはこういう地盤で再評価しますっていうモデルができるわけ。そのステップが今書いて、わからないんです。
0:23:03	リーダからそのデータ使いますこれをどのように処理して、相対的にその平均化したも物にしますというその平均化するプロセスなんかも、これ、今ないよねって教えていただいと、おっしゃる通りで、
0:23:22	その追加によって、どういうモデルができるんだっていうところを、
0:23:28	つまびらかに説明してもらう必要があると。
0:23:31	思ってるんですけども。
0:23:35	わかりました。衛藤。
0:23:39	繰り返しますへ追加したもので改めて申請します改めて出身する中身は、プロセスは、平均はこういうふうなことでやりますんでそれは、
0:23:52	なお、今までやってきたものと管理をしたいんですけども、おそらくヨシツグってこれやりますだっけ、言ってやって、結論として、こういう補正の設定になりますと、ちょっとそこまで、
0:24:06	1年、プロセスとけ、使ったデータプロセス、結果がかおっていけるような記載に、
0:24:16	とるべきやと、いうお話をいただいたんだというふうに理解しました。
0:24:22	はい、瀬崎です。おっしゃる通りです。
0:24:25	コサクですけど、何でそれを求めてるかっていうと、その過程の中でどう考えたかっていうのを説明して欲しいから、
0:24:33	ですよ。
0:24:35	今の言い方だけだと、結局やったことタダ画だけっていうことなような気もするので、

0:24:41	しっかりと考えを述べて欲しくて、今のその平均化も当たり前のようにしていってますけど平均でいいのかっていうようなことを加重平均しないでいいのかっていうことだってあるわけで、
0:24:51	1次元でやらない、やりたいっていうことがあるから、一つの数字出すのに平均当たり前と思ってますようですけど。
0:24:59	その数字を求めるときの考え方ってというのはあるはずで、それはそのデータがどういう状況だから、
0:25:06	ていうことがあって、こういうのを単純平均でいいよねっていうことになったりするわけで、
0:25:13	そのためにも、敷地地盤の特徴っていうのをまず考えて、データの特徴をこう考えるとこういう評価でいいよね。こういう算出の仕方でもいいよねっていうふうになるはずなんですよ。
0:25:25	そこをちゃんと説明してくださいってことです。
0:25:32	わかんなくなっちゃいますから、原因のことです。はい。趣旨すいません承知いたしました。はい。
0:25:40	そうですね。
0:25:42	このデータの途中もあれですね当初よりねとすいません確かにですね、今までやってきたやり方を当初してやってるようなところは、
0:25:55	じゃったんいらっしやってるところがございましたけど、だからなくて、募集してるということ時点でもうバツなんですよ。
0:26:05	はい。承知いたしました。だからそのところを深尾にちゃんとやったことと、その考え方というのを、一つのグループに対して書き下すと。
0:26:17	ということで、これでこれだけそうかどうかをご審議いただくというふうな形になるっていうことかなというふうに理解いたしました。はい。本件は、
0:26:29	1回金認可ありきということでやってしまって、実際の地盤の特徴っていうのを振り返らなかったという反省に立って、
0:26:41	0から始めたと。
0:26:43	ということだったはずなので、その点を踏まえてしっかりと説明してください。
0:26:51	はい。年ノモトでございます。承知しました。
0:26:58	作業さしてさ。
0:27:00	しかない。
0:27:02	ね。
0:27:03	土岐瀬田は滝です猪野さん理解いただいたと思いますけどこれ
0:27:08	今も話出ましたように、そもそも否認カーのボーリングデータに基づいて、今まで作ってましたと、追加した1099年以降でしたっけ、追加のボーリング調査のデータが入ってませんでした。

0:27:21	新と旧を合わせて作ったらどうなった、どうなるんですか。それを 12 グループで分けたのが今のモデル、今のっていうか今までのモデルなわけで、
0:27:32	そこに新たに今回、PS 検層のデータが追加されたわけなんで、同じステップで各グループごとにモデルを、
0:27:42	ができるわけですから、その作業の過程を説明してくださいということなんで、何ら難しい話ではないと。
0:27:50	思ってますので、対応をお願いします。
0:27:56	ありがとうございます。了解いたしました。コサクです。終わりしろとか、
0:28:04	うまい話
0:28:08	9 ページ R592 を入れてるんですけど、
0:28:13	8 ページだと、周辺の枠に入れてないんですよ。
0:28:20	ここら辺ちよっとどうす、対応してるのかよくわかんないんですけど。
0:28:26	どうなんでしょうか。
0:28:30	正しいのはこっち 9 ページの方だよ。現在のでございます 9 ページの装荷してんのが正しいんですけどもええとですね、すいません、見直し、9-10 ですね。
0:28:42	見るんじゃない。
0:28:44	じゃなくて、急にです。
0:28:47	越智さんは、うち、
0:28:49	部長、整合とってちゃんと書いていただいて、できれば並びとかもですね、位置関係がちゃんとわかるように入れていただかないと、
0:29:02	層構造とですね、データがどういうふうに関係してるのかっていうのが非常に見づらいんで、
0:29:07	その辺りも含めて整理をさせていただければと思います。
0:29:15	はい。辨野でございます。承知しました。
0:29:18	うちもう見えないね。
0:29:22	あの並び方を工夫するだけ 1 列並べただけでもですね、東西と南北等の特徴というのが見えるようになりますと思いますので、よろしくお願ひします。
0:29:34	はい。
0:29:35	あれ。
0:29:35	承知しました。
0:29:38	すごいですね。
0:29:42	通常のキシノで違うのね。
0:29:46	不明確なところあるんですけど、それは確認をしたいと思いますが、特に点だけ基本的には大したことだよ。

0:29:55	これ全体を見えないんですね。いや、私が面で広げたんですけど、PS 検層の追加とその比較をされているんですけど、
0:30:05	流下調査って、単位体積重量も測定したんじゃないのかなと思ったんですけどその扱ってのは、ここに載ってないだけで同じような、検討としては議会でもよろしいですか。
0:30:27	はい。
0:30:30	セノクチですかね、聞こえてますから、取り扱い。
0:30:38	炉、当然セキのものでございます。
0:30:41	今回のですね、Q値測定ですね岩石コア密度なんですけど、これ今岩石コアの減衰を持ち、減衰試験をするコアを、コアの水ツジ水をですね、
0:30:56	求めるということで、今は、野木層でですね測ってはいるんですけどもまだちょっとその情報がこちらの方に来てないということで、来ましたらですね随時その情報を入れていくということで考えております。
0:31:09	瀬野キシノです。はい。
0:31:12	溶出連敗堆積重量も、
0:31:15	同様のプロセスが増えて、
0:31:19	分析の前にその妥当性とかを確認するんだっていうことでいいですかね。
0:31:28	はい、当然設計のものでございます。はい。その通りでございます。はい。
0:31:34	ちょっと、
0:31:35	説明が抜けちゃってて、20日1ぐらいになってる。
0:31:38	これを説明できるようにしていただき、
0:31:41	思います。
0:31:41	あともう1回なんすけど、17ページをお願いしたいんですけど。
0:31:45	これはもう、
0:31:48	ズーはですね、もうすでに何度か見せてもらっているんで、ちょっとこれの算定方法っていうものを今までよく確認してなかったなと思うんで教えていただきたいんですけど。
0:31:59	下の
0:32:01	シミュレーション解析結果とあるズーなんですけど、
0:32:05	トリリニア型バイリニアがた。
0:32:07	周波数依存性なしっていうのを、
0:32:10	並べた結果になっているんですけど、これはおそらく、元になっているのは政府らして、ある震度におけるスペクトルを拾ってるんだと思うんですけど、

0:32:21	リニアバイリニアといった周波数依存性を考慮した計算の中でやっているとしたら、表層地盤の非線形性ってのは多分、同時に見られないんじゃないのかなっていうふうに思ってますけど、この辺り、
0:32:33	どういう方法で、例えば表彰状はどういうふうに扱ってこの結果を出したのかっていうところを、
0:32:40	教えていただいてもいいですか。
0:32:43	あります。はい。日本原燃のオガセでございます。こちらなんですけれども地震観測の1の場所の速度の同定ということをやっていますので、その地震観測の位置での表層地盤、東側だとちょっと暑いとかいろいろありましたけどその物性を、
0:33:00	条件として入れているというところになっております。衛藤支店計表層地盤の非線形とかっていうところにつきましては、この地震が実際に起きた地震のシミュレーションというところを考えますと、この31が実は加速度としては一番大きい部類になるんですがそれでも大体40ガルぐらいというところで、
0:33:17	それほど大きいものではありませんので、岩盤はもちろんですけども表層についても、それほどひずみが伸びることはありませんというところの判断をいたしまして、線形解析の条件でやっているというところになってございます。実機解析のやってる内容としては以上です。
0:33:31	はい。すいません。わかりました。ありがとう。
0:33:37	はい。私から。
0:33:42	規制庁側からその他何か確認事項ございますか。
0:33:48	国ない。
0:33:50	日本の本日振り返りを生かします。
0:33:57	はい。原燃の大戸でございます。江藤越田君。
0:34:07	そしたら、口頭でよろしければアノサトウ振り返りさせていただきたいと思います。
0:34:16	ですね、まず大きな話としてはですね、説明として基となるデータの信頼性の確保から入っていくことが基本であるということで、まずデータの取り方、それからその信頼性、それからとったデータというのを
0:34:35	まずご提示した後に、そのデータですね、等がどのグループに属するかというあたり図形の検討というのを総評として、挟まさせていただいて、
0:34:50	その紐づけが一応やった後にですね、それぞれのひもづけられた全体に基づく、各々の石野ですね検討が続いていくという構成に直させていただこうというふうに思っております。
0:35:08	八尾ソウノですね構成すいません、尾野医師の検討をにあたっては、それぞれのたから、その処理の仕方、それから、

0:35:22	それに基づく、結局ですね最後どういうふう処理が結果として出てきたかというプロセスと、その考え方も含めて、一連ですねご審議に耐えるような資料をということで、
0:35:41	等言っていたというふうに思っております。そういう形で整理して参りたいと、というふうに思っております。
0:35:50	はい。それとですね、今後の対応仁木当期サイゼン全体計画につきまして今後の対応のところの北川ワダということで、ご指摘をいただいておりますので、
0:36:04	次回会合での説明内容をですね末尾におそらく説明することありますけどそこで考え方をですね殊、少し詳しいこと言いますか。
0:36:16	考え方がわかるようなものをご提起したいと、いうふうに思います。
0:36:23	で、ですね、
0:36:26	パークを、
0:36:30	それから、段階的ジュールにつきましても妥当性確認する必要があるということで、これ説明できるように準備することということで出場三つのランク壊すピットを成功するため、きっかけにイデキタニ御説明と、
0:36:45	ように考えているところでございます。これで何か、
0:36:52	おそらく、すいません以上でございます。
0:36:55	はい規制庁のSD規制庁から何か今の辺について確認事項とかあればお願いします。
0:37:01	規制庁コサクですちょっと細かい確認ではあるんですけど、
0:37:06	8 ページの図を見ると先ほどR992 の話はしたんですけど、
0:37:13	東側地盤等ではグループの枠に入れてない。
0:37:19	ボーリング呉の箇所がいつかあって、このデータをどこで使うのっていう、ノーなんですけど、
0:37:29	両側で使うっていうこともありますか。
0:37:37	辨野でございます。有り得ますはい。
0:37:40	はい、わかりました。その際に先ほどの表の中でですね両側使いますっていうことがわかるように、
0:37:47	工夫していただければと思います。おっしゃる通りですねはい。そのデータのひもつきのところでお聞きしたいというふうに思います。以上です。
0:37:57	はい、規制庁ねその他規制庁もしくは日本原燃、どちらからでも何か。
0:38:03	ございますか。もう1点、ごめんなさい。一応グループで話をさせていただくことになりますけど、あまりそのグループでの数字云々というところまであんまり言明されないのかなと思いつつですね。
0:38:19	一方今回分析は一通りするっていうことからすると、

0:38:24	例えば中央地盤妥当北川からF、AG、GA _g DCと。
0:38:32	並んでいくということで、南北の特徴としてどういうことがいえるかみたいなことは何か言わないんですかね。
0:38:46	玄野元でございます。そういう観点での検討は今までそういう感じで見えていなかったというのが正直なところではございます。
0:38:57	ちょっと出てきたときにちょっと仕上がりも見ながらやはりそういう名をちょっと見ながら、何だかゆることがあるのかどうかというのを、
0:39:08	少し見てみようと思います。すいませんちょっとはつきり答えて申し訳ありません。
0:39:13	はい。補足ですそれが大事で、今回の議論の発端だと思いますから、何らか触れていただいてその上で実際に、
0:39:23	モデルを設定してみて、分析し、
0:39:27	計算した結果を見てみて、どんな影響が出てるのかと。
0:39:30	いうことに繋がるんだと思いますのでよろしくお願いします。
0:39:35	天然ノモトです承知いたしました。
0:39:39	あ、いいですか規制庁ハバサキなんですけどちょっとこれは確認なんですけども、例えば今回
0:39:45	2番、Aのエリアがですね紹介されてるんですけど、
0:39:50	例えばですけどこのAAについては追加データを、
0:39:54	反映した地盤のモデルっていうのは、もうできているんですか。
0:40:02	原燃野本でございます。短く言うとまだでございます。
0:40:08	はい、規制庁浜崎です。事実関係は確認しました。
0:40:13	以上です。
0:40:17	はい、では規制庁のですね改めてよさ規制庁側からもしくは日本原電だからさ、何かございますか。
0:40:25	スケジュール。
0:40:30	臼杵。
0:40:32	先生、
0:40:35	排気筒状のです。今後、この修正とか資料提出のスケジュール感、
0:40:39	売り上げがどう考えてますか。
0:40:43	県ノモトでございます。会合資料案のご提出を今週の目標の中に設定しておりまして、そこにですねできるだけのところは、
0:40:59	対応して、カ一杯ちょっと頑張った仕上がりって載せさせていただきたいというふうに思います。ちょっとどこまでやれるかは社内で検討させていただきます。以上でございます。
0:41:15	はい。

0:41:17	その他、特になければ、これで本日のヒアリングを終了したいと思います。お疲れ様でした。録音を停止いたします。
---------	---